HITACHI
技術の日立

第40回全日本高校選手権

浦和実に栄冠

名短付

第40回全日本高校選手権大会は，８月５日から10日まで，高知南高校，高知県民体育館を使って開催された。

男子は，明星（東京）対浦和実（埼玉）という関東勢同士の対決となったが，春の選抜大会の覇者・明星を破った浦和実が５年ぶり２度目の栄冠に輝いた。一方，女子は，春の選抜につづき夙川学院（兵庫）対名古屋短大付属（愛知）というライバル対決となり，実に第２延長までもつれ込む大熱戦となったが，名短付がせり勝ち，春の雪辱を遂げると共に，念願のインターハイ初優勝を果たした。

男子

１回戦

久工大附（福岡）27（13－6、14－6）12 四日市工（三重）

〔戦評〕四日市工がポストシュートから先取点を得たが、３分過ぎに久留米が四日市工・高橋にマンツーマン・ディフェンスをかけ、攻撃のリズムを失った四日市工に対し久留米がじわじわと点差を広げ、前半13―6と大きくリードして終了。

後半、波に乗った久留米はマイペースで加点、大差をつけて四日市工を降した。

得	〔久工附〕		〔四日市工〕	得
0	中島	GK	藤澤	0
0	文	GK	中西	0
3	岡	FP	高橋	1
5	誉田	FP	羽田	2
5	鶴田	FP	飛松	2
0	古賀	FP	建徳	0
0	三津	FP	寺嶋	1
0	江口	FP	近俊	2
8	川崎	FP	青柳	2
2	馬場	FP	岡	2
2	飯田	FP	服部	0
2	中村	FP	松本	0
		（審・上久保・北井）		
27	(2)	PT	(1)	12

青森商（青森）26（10－12、16－5）17 三好農林（徳島）

〔戦評〕立ち上がり両チームとも動きが固かったが、５分にPTで先制した青森商のロング攻撃に対し、三好農林は速攻と両サイド攻撃で対抗、セットでの攻撃が単調な青森商をリードした。

後半は、開始早々の連続速攻でリズムをつかんだ青森商が本来の力を発揮、後半ミスの目立った三好農林に逆転勝ちした。

得	〔青森商〕		〔三好農〕	得
0	鈴木	GK	村田	0
0	竹森	GK	野田	0
1	大村	FP	三木	6
5	工藤	FP	鈴木大	2
10	木浪	FP	上西	3
0	金平	FP	杉本	3
0	佐藤貴	FP	西原	1
1	澤田	FP	大西哲	0
1	岡村	FP	大西正	1
3	牧野	FP	丸岡	0
0	佐藤伸	FP	鈴木英	0
5	名古屋	FP	橋本	1
		（審・北山・大原）		
26	(4)	PT	(2)	17

大分電波（大分）25（10－8、15－9）17 盛岡第一（岩手）

〔戦評〕立ち上がり両チームともディフェンスが荒く、攻撃もミスが目立った。前半、10―8と大分電波がリードを奪った。特に大分の穴井のロングシュート、カットインが得点につながった。

後半10分過ぎまで一進一退の攻防が続いたが、15分頃から大分電波の速攻がたて続けに決まり、点差を広げてふり切った。

得	〔電波〕		〔盛岡一〕	得
0	後藤忠	GK	桜田	0
0	荒金	GK	小沢	0
3	入江	FP	斉藤和	3
4	妹尾	FP	工藤	3
2	後藤寛	FP	平沢	3
2	平松	FP	米内	3
7	穴井	FP	田口	1
2	石本	FP	高橋裕	4
3	萩本	FP	高橋望	0
0	宇多村	FP	江村	0
0	工藤	FP	斉藤孝	0
2	石丸	FP	石川	0
		（審・武智・松原）		
25	(2)	PT	(1)	17

市川（千葉）19（11－9、8－8）17 市岐阜商（岐阜）

〔戦評〕両チームともに一進一退のゲーム展開で、市川は川上のサイドシュートや速攻で得点し、一方岐阜は安田のロング中央攻撃を見せたが、岐阜の守りが悪く、２人の退場者を出したスキに市川が２点差をつけた。

後半は、両チームとも攻防に雑になり、警告、退場者を出したが、一歩攻撃力に勝る市川が勝利を納めた。

得	〔市川〕		〔市岐阜商〕	得
0	浜松	GK	比島	0
0	柴内	GK	渡辺	0
3	塚越	FP	中村	2
5	吉橋	FP	日比野	3
5	川上	FP	古賀	0
4	武井	FP	川畑	4
0	太田	FP	武内	1
2	松村	FP	安田	7
0	三宅	FP	長谷川	0
0	岡田	FP	上吉原	0
0	吉田	FP	塩谷	0
0	下西	FP	杉山	0
		（審・片岡・清水）		
19	(5)	PT	(3)	17

江津（島根）26（14－10、12－12）22 高知東（高知）

〔戦評〕立ち上がり固さの見られた高知東のディフェンスをうまく突いて江津が得点を重ね、このままワンサイドゲームで前半を終了するかと思われたが、個人技に冴えを見せる高知東も中盤から盛り返し、14―10で前半を終了。

後半に入って高知東・中岡のロングがたて続けに決まり、追い上げムードに乗るかと思われたが、依然としてディフェンスのチェックが甘く、お互い点の取り合いとなったが、結局江津が前半の点差を守って逃げ切った。

得	〔高知東〕		〔江津〕	得
0	芝	GK	米田	0
0	村山		山下	0
0	石田	FP	高井	3
5	浜田		森脇	10
5	下元		山本	8
3	日之裏		森	4
0	竹中		益田	1
3	西尾		川下	0
6	中岡		宮里	0
0	山内		多岐	0
0	徳久		羽手原	0
0	楠瀬			
22	(0)	PT	(0)	26

（審・北山・大原）

神埼農（佐賀） 17〔9―7 8―8〕 15 北陸（福井）

〔戦評〕両チームともカットインからロングシュートといったパターンでゲームを展開した。

後半に入り両チームとも固さがとれ、スムーズにゲームが運べるようになると、神埼農がゲームを徐々にリードを奪った。一方北陸も粘り強い攻撃で食い下がったが、神埼農が2点差で逃げ切った。

得	〔北陸〕		〔神埼農〕	得
0	山口	GK	横枕	0
0	大原		田中	0
3	岡田	FP	山下	2
3	東谷		坂井	0
0	堀川		三浦	2
4	山崎		中島	0
1	児嶋		井口	0
4	手塚		西久保	5
0	斉川		中尾	4
0	中谷		鶴田	4
0	上野		久保	0
0	金谷		徳安	0
15	(0)	PT	(3)	17

（審・大村・山川）

上宮（大阪） 24〔13―9 11―8〕 17 日大明誠（山梨）

〔戦評〕日大明誠は20分までに若月のカットイン、奥津のサイドシュートなどで得点。一方上宮は真田、吉田の速攻で得点、互角の展開を見せる。20分過ぎから上宮は速攻やPTでリードを奪い、13―9と4点をリードして前半を終了。

後半開始早々から上宮はポスト攻撃から得たPTを2本決めるなどして優位に立った。日大明誠はGK松本が活躍したが、点差は縮められず、上宮がリードを守って逃げ切った。

得	〔日大明誠〕		〔上宮〕	得
0	吉田	GK	菊野	0
0	松本		樋口	0
0	水越	FP	小林	2
4	若月		大川	2
1	秋山		真田	3
2	小沢		吉田	7
4	浅野		森居	1
1	栗林		中井	3
5	奥津		宮地	3
0	市川		森島	1
0	岸		太田	0
0	広野		安田	2
17	(2)	PT	(4)	24

（審・上久保・北井）

高松商（香川） 19〔9―9 10―8〕 17 総社（岡山）

〔戦評〕前半は互いに点を取り合うゲーム展開となった。高松商は西塚のポスト、総社は白神のサイドで得点を重ね9―9で終了した。

後半の立ち上がり、総社のディフェンスが荒くなり、退場者が出たところを高松商が一気に攻め、4点差とした。総社も必死に追い上げるが、結局19―17で高松商が逃げ切った。

得	〔総社〕		〔高松商〕	得
0	長江	GK	紺田	0
0	山上		藤井修	0
4	白神	FP	高橋	5
6	安田		藤井邦	2
3	木口		末本	3
2	山辺		藤原	0
2	藤本		吉峰	0
0	瀬尾		西塚	6
0	水畑		中野	0
0	山口		久保田	0
0	江口		西村	1
0	浅田		東山	2
17	(2)	PT	(2)	19

（審・片岡・清水）

コザ（沖縄） 23〔14―10 9―9〕 19 修道（広島）

〔戦評〕コザが固いディフェンスから速攻を連発し、一方的な試合になるかに見えたが、修道は前半10分過ぎからコンビプレイを中心とした反撃を開始した。しかし、試合巧者のコザは後半に入ると再び調子を取り戻し、修道を押し切った。

得	〔修道〕		〔コザ〕	得
0	宮田	GK	西平	0
0	大谷		仲曽根	0
3	石木歩	FP	前島	1
1	細川		新里	0
1	大神		富名腰	1
2	石木治		前原	0
1	吉野		津嘉山	0
9	竹明		根路銘	0
0	柴田		當間	3
1	坂本		玉城	4
1	浜崎		根路銘	9
0	草壁		宮里	5
19	(2)	PT	(2)	23

（審・大村・山川）

長浜北（滋賀） 18〔8―8 10―7〕 15 清水市商（静岡）

〔戦評〕先取点は清水市商がPTで先行し、長浜北がサイドシュートで同点とし、以後一進一退のゲーム展開となる。両チームともロング、サイドとよく動いたが、8―8の同点で前半を終了。

後半、ダブルスカイのミス、パスミスが見立った清水市商に対し、ディフェンスの力を見せ、得点へと結びつけた長浜北が勝利を得た。

得	〔清水商〕		〔長浜北〕	得
0	足立	GK	上田	0
0	成岡		杉江	0
2	新井	FP	城楽	0
2	望月		山口	6
3	田代		浅尾	6
2	渡辺		伊吹	5
0	澤野		河合	0
4	岩崎		饗場	0
2	大里		山村	1
0	太田		藤井	0
0	大井		押谷	0
0	大塚		中田	0
15	(2)	PT	(3)	18

（審・中本・久保）

鹿児島工（鹿児島） 24〔5―10 14―9 4―1 1―3〕 23 水海道一（茨城）

〔戦評〕前半立ち上がりは両チームとも固さがとれず5分で1―1。その後水海道一が徐々に波に乗って着々と加点、10―5で前半を終了した。

後半に入って4分、水海道一に退場者が出た頃から鹿児島工も調子を上がり、20分には同点とした。その後は一進一退をくり返し、19―19で延長に入る。

延長の前半、追い上げムードの鹿児島工が3点を連取、後半に入って水海道一も必死に追い上げた

が1点差で鹿児島工が逃げ切った。

得	鹿児島工		北海道一	得
0	加治屋	GK	名取	0
0	松崎	GK	名和	0
3	立山	FP	小川	2
2	野崎		張替	4
7	堀川		中島	0
4	倉園	〔審・伊藤・高橋〕	染谷	3
2	堀		荒木	9
5	留奥		小板橋	0
1	松本		鈴木	4
0	前野		酒井	1
0	上久保		伝田	0
0	福元		小林	0
24	(5)	PT	(1)	23

正強（奈良）21〔10—2, 11—4〕6 北村山（山形）

〔戦評〕前半、北村山は正強のセットプレーを守り切れず、大橋のポストシュートを許したり、荒いディフェンスからのPTで10—2という一方的な展開となった。正強は北村山の攻めに対し読みも良く、堅いディフェンスを見せた。
後半、北村山も懸命に反撃を試みるが、前半のペースは変わらず、正強の圧勝に終った。

得	正強		北村山	得
0	東田	GK	堀井	0
0	矢内	GK	菅原	0
1	松江	FP	結城	2
0	鶴田		狩野	0
4	木村		志村	0
4	宮本	〔審・杉山・多田〕	高橋	0
5	大橋		海藤	0
3	樫原		上屋	0
3	堀江		斉藤	1
0	上武		安達	1
1	栄枝		高桑	2
0	岡本		斉藤	0
21	(4)	PT	(0)	6

那賀（和歌山）21〔9—5, 12—11〕16 国学院栃木（栃木）

〔戦評〕前半、両チームともリズムに乗れず、初得点が6分、那賀・中露がようやく決めた。やっと10分過ぎになって得点が動き出し前半は9—5と那賀の4点リードで終了。
後半、国学院栃木は村上のロングシュートなどで2点差まで追い上げるが、那賀・中露のロングシュートで突き放した。

得	那賀		栃木	得
0	正木	GK	神永	0
0	加藤	GK	寺久保	0
8	中露	FP	菊政	1
3	古閑		戸澤	0
1	飯野		福田	1
0	小嶋	〔審・佐藤・鎌田〕	石川	7
1	福岡		窪田	0
1	笠中		小林	3
2	藤岡		村上	4
5	金川		松本	0
0	土岐		寺内	0
0	田宮		阿部	0
21	(2)	PT	(0)	16

仙台育英（宮城）20〔9—5, 11—8〕13 境（鳥取）

〔戦評〕立ち上がり単調な攻撃の育英に対し、小柄ながら全員がよく動く境がリードしたが、20分、育英がGKの好守を軸に逆転し、前半は9—5と育英の4点のリードで終了。
後半5分、境がよく走り、10—10と追いつくが、7分過ぎ育英は坂下のロングシュートを皮切りに6点を連取して試合を決めた。

得	仙台育英		境	得
0	佐藤	GK	黒田	0
0	舟橋	GK	高力	0
9	後藤	FP	森田	2
3	坂下		足立	1
3	重田		野中	0
2	大崎	〔審・伊藤・高橋〕	小西	1
0	高橋		里見	0
2	水谷		尾川	6
1	真田		大山	1
0	丸山		足立	1
0	大庭		岩崎	1
0	石井		景山	0
20	(3)	PT	(0)	13

屋代（長野）25〔12—5, 13—12〕17 高知西（高知）

〔戦評〕高知西が幸先よく先制したが、屋代も中央からロングシュートを決めた同点とした。その後高知西はチャンスがあったが、ミスが続いてきっかけがつかめなかった。その後屋代は速攻、カットイン、ミドルシュート、スカイプレーと加点し、前半を12—5で終了した。
後半に入って互いに速攻、ポストなどで点の取り合いになったが、前半の差が響いて25—17で屋代が逃げ切った。

得	屋代		高知西	得
0	北村	GK	氏原	0
0	倉石	GK	森田	0
2	中村	FP	福元	5
2	西沢		桑原	6
2	渡辺		中島	0
0	小滝	〔審・多田・杉山〕	坂本	3
1	今井		三宮	3
1	溝口		大前	0
1	下崎		水野	0
0	武田		宮脇	0
9	山本		宮地	0
0	石坂		近藤	0
25	(4)	PT	(4)	17

岩陽（山口）17〔9—5, 8—4〕9 長崎日大（長崎）

〔戦評〕立ち上がりから両チームともにパスミスが多く、シュートが雑なプレーが目立った。田村を中心に攻防ともに優れている岩陽が着々と加点した。一方長崎日大は前・後半ともにシュートに決定打がなく、岩陽の反撃を許し、じりじりと点差を広げられてしまった。

得	岩陽		長崎日大	得
0	三牧	GK	大塚	0
0	水谷	GK	中野	0
2	森田	FP	高木	2
1	藤谷		池田	1
0	山田		山根	0
1	藤井	〔審・中本・久保〕	吉原	1
10	田村		村中	2
3	中村		緒方	3
0	吉村		福田	0
0	三田		本木	0
0	畠中		野原	0
0	木村		松本	0
17	(3)	PT	(0)	9

2回戦

明星（東京）18〔11—6, 7—7〕13 久工大附

〔戦評〕前半立ち上がり、互いに速い攻めと堅い守りを見せ、気迫ある好ゲームとなる。しかし、明星の点差が勝り、五島、高橋のシュートがよく決まった。さらに、GK梶山の好守もあって11—6と

得	明星		久工大附	得
0	梶山	GK	中島	0
0	小林	GK	文	0
5	五島	FP	岡	2
0	金井		誉田	1
0	遠藤		鶴田	2
4	田代	〔審・武智・松原〕	古賀	1
0	野島		柳	0
0	宍戸		江口	2
2	島沢		川崎	2
6	高橋		馬場	3
0	斉藤		飯田	0
1	佐藤		中村	1
18	(2)	PT	(2)	13

明星がリードして前半を終る。
　後半、久工大附も粘りを見せるが、明星・田代のロングシュートが冴え、攻め、守りに勝る明星が勝利を収めた。

青森商 24〔8―9／16―7〕16 桂（京都）

〔戦評〕前半、青森商のダブルポスト、桂のシスグルポストからのポストプレー、速攻プレーのめまぐるしい攻防となり、シーソーゲームとなる。前半は9―8と桂が1点をリードして終了。
　後半10分まで桂が3点リードするが、青森商も木浪のミドルシュートなどでよく追いつき、桂のミスから速攻で4点を連取するなど残り6分から8連続得点で逆転勝ちした。

得	〔青森商〕		〔桂〕	得
0	鈴木	GK	西澤	0
0	竹森		水野	0
6	大村	FP	権藤	4
4	工藤		松村	0
8	木浪	（審・杉山	八木	0
0	金平	多田）	北浦	0
0	佐藤貴		土肥	0
0	澤田		森川	0
0	岡村		片山	6
2	牧野		岩本	3
0	佐藤		森川	3
4	名古屋		友田	0
24	(2)	PT	(4)	16

大分電波 16〔6―7／10―6〕13 小松明峰（石川）

〔戦評〕前半、小松明峰はカットインプレー、ポストシュートなどで得点を重ねた。大分電波は、10分まで小松の堅い守りを攻めあぐみ得点できなかったが、10分過ぎからようやくサイドからの回り込みシュートなどで得点、前半を7―6の1点差で終了した。
　後半に入って両チームとも動きが良くなり、13分過ぎに大分が初めてリードを奪った。大分・穴井のミドルシュートがよく決まり、着実に加点して小松をふり切った。

得	〔明峰〕		〔電波〕	得
0	藤島	GK	後藤忠	0
0	辻本		荒金	0
0	川本	FP	入江	0
5	北橋		妹尾	0
0	角井	（審・高橋	薬師寺	0
2	菊谷	伊藤）	後藤	1
2	藤多		平松	0
1	石井		穴井	11
3	大壁		石松	0
0	中村		萩本	3
0	藤原		宇多村	1
0	清水		石丸	0
13	(1)	PT	(5)	16

市川 13〔9―3／4―9〕12 西宮東（兵庫）

〔戦評〕前半、市川が松村のポストプレー、川上のサイドシュートなどで9得点、一方西宮東はシュートミス、パスミスが目立ち、やっと速攻で3点と前半で勝負あったかに見えた。
　しかし、後半5分過ぎから西宮東は深海、日野の5連続速攻で1点差まで追い上げ、残り5分には同点に追いつく。市川は残り30秒にキャプテン武井がPTを決めてようやく逃げ切った。

得	〔市川〕		〔西宮東〕	得
0	浜松	GK	柴田	0
0	柴内		亀井	0
1	塚越	FP	藤井	2
1	吉橋		多田	2
2	川上	（審・大原	栗原	0
4	武井	成岡）	谷	0
2	太田		荒木	1
3	松村		深海	3
0	三宅		温井	0
0	岡田		坂本	2
0	吉田		須崎	0
0	下西		白野	2
13	(2)	PT	(1)	12

湯沢 25〔13―7／12―6〕13 江津（秋田）

〔戦評〕前半15分まで互いに点の取り合いとなったが、その後は湯沢の速攻、セットプレーでサイドシュート、ポストと点を重ね、前半を6点差で終了。
　後半に入って、最初は江津もミドルシュート、ペナルティーなどで追い上げたが、シュートミス、パスミスが目立ち、15分過ぎには10点差となった。
　湯沢の足を生かしたハーフ速攻、セットプレーが目立った。

得	〔湯沢〕		〔江津〕	得
0	下嶋	GK	米田	0
0	照井		山下	0
10	本田	FP	高井	2
1	松田		森脇	6
7	高橋	（審・佐藤	山本	3
2	佐藤	真嶋）	森秀	0
2	高橋		益田	0
3	佐藤		川下	2
0	近江		宮里	0
0	森田		多岐	0
0	佐藤		斉藤	0
0	飯塚		黒川	0
25	(2)	PT	(3)	13

富岡 25〔13―7／12―12〕19 神埼農（群馬）

〔戦評〕前半立ち上がり、両チームとも早い動きで互角の試合を展開したが、10分過ぎから富岡は速攻、サイド、ポストと多彩な攻撃で着々と加点、13―7で前半を終了。
　後半に入って、神埼農は退場者を出しながらもよく健闘したが、前半の6点差を縮めることができなかった。

得	〔富岡〕		得〔神埼〕	
0	米沢	GK	横枕	0
0	大塚		田中	0
0	斉藤	FP	徳安	0
7	岩田		山下	0
1	神戸	（審・高橋	坂井	0
0	小板橋	伊藤）	三浦	3
0	中野		中島	0
0	大沢		井口	0
4	中島		西久保	7
4	神戸		中尾	5
3	吉本		鶴田	4
6	神戸		古瀬	0
25	(1)	PT	(2)	19

上宮 29〔16―8／13―7〕15 氷見（富山）

〔戦評〕両チームともディフェンスが良く、互角の滑り出しであったが、10分過ぎから上宮の速攻が決まり、着実に加点して16―8と上宮がリードして前半終了。
　後半、氷見も粘り強い攻撃を見せたが、上宮GKの菊野が再三のノーマークシュートを止めて、氷見にリズムをつくらせず、大差をつけてふり切った。

得	〔上宮〕		〔氷見〕	得
0	菊野	GK	室田	0
0	樋口		佐藤	0
0	小林	FP	塚原	1
3	大川		江幡	3
7	真田	（審・武智	小路	0
5	吉田	松原）	山下	2
5	森居		浜井	1
5	中井		針山	2
2	宮地		桶家	5
0	森島		岩本	0
2	太田		田	0
0	安田		岩上	1
29	(1)	PT	(2)	15

熊本市商 30〔16―8／14―4〕12 高松商（熊本）

〔戦評〕立ち上がり、高松商が西村のミドル、東山の速攻などで4―1とリードしたが、10分過ぎから熊本市商が平田のロングや高松商のミスで乗じての速攻などで逆転、16―8と前半をリード。
　後半に入っても、高松商は思うようにパスがつながらず、シュートミスやパスカットからの熊本の速攻が次々に決まり、点差を広げて逃げ切った。

得	〔熊本商〕		〔高松商〕	得
0	東	GK	紺田	0
0	西浦		藤井修	0
2	蔵田	FP	高橋	2
5	梅井		藤井邦	1
2	久保田	（審・中本	末本	1
7	平田	久保）	藤原	0
0	宮崎		吉峰	0
4	長松		西塚	1
3	松谷		中野	0
0	濱津		久保田	0
4	加川		西村	6
3	益崎		東山	1
30	(1)	PT	(1)	12

浦和実 24〔13―8／11―9〕17 コザ（埼玉）

〔戦評〕両チームとも動きが良く、好ゲームを予想させる立ち上がり。浦和実が堅い守りから一歩リードし、前半を13―8とする。
　後半、コザも反撃、10分過ぎ3点差まで追い上げたあとボールカットからの逆速攻をオーバーステップ、つづいてPTをはずし、チャンスを逃がしてしまった。

得	〔浦和実〕		〔ゴザ〕	得
0	矢作	GK	西平	0
0	加藤	GK	仲曽根	0
6	永山	FP	高江洲	0
5	安藤	FP	前島	0
0	田中	FP	富名腰	0
2	佐藤	FP	前原	1
0	浅利	FP	津嘉山	0
4	笹井	FP	根路銘	2
0	新井	FP	富向	0
0	大成	FP	玉城	3
3	田村	FP	根路銘	6
4	二川	FP	宮里	5
24	(0)	PT	(3)	17

（審・佐藤・真嶋）

長浜北 29 〔16—9 13—11〕 20 学法石川（福島）

〔戦評〕10分までは互いに速攻を決めるなどして一進一退の展開であった。10分過ぎから長浜北・伊吹のカットインや押谷の速攻で僅かにリードを奪った。20分過ぎに学法石川も渡辺のミドルシュートなどで追い上げたが、13—11で前半を終了した。

後半は5分までに長浜北GK上田がよくノーマークを阻止し、伊吹がカットインを決めるなど6点差をつけた。その後、学法石川も板倉の速攻などで追いすがったが長浜北が逃げ切った。

得	〔長浜北〕		〔石川〕	得
0	上田	GK	松崎	0
0	杉江	GK	本田	0
3	城楽	FP	矢吹	3
6	山口	FP	板倉	6
3	浅尾	FP	渡辺	4
7	伊吹	FP	野村	1
1	河合	FP	添田	0
1	饗場	FP	三浦	3
1	山村	FP	高橋	0
0	藤井	FP	鈴木	2
7	押谷	FP	角田	0
0	中田	FP	小針	1
29	(0)	PT	(3)	20

（審・片岡・清水）

鹿児島工 22 〔13—7 9—4〕 11 新潟江南（新潟）

〔戦評〕前・後半を通じて、攻撃力、足を生かしてスピードに勝る鹿児島工がリードを奪う。新潟江南もスピードがあり、パスワークも良かったが、ディフェンスが少し弱く、相手に得点を許した。

得	〔鹿児島工〕		〔江南〕	得
0	加治屋	GK	小林	0
0	松崎	GK	長谷川	0
5	立山	FP	永井	0
0	野崎	FP	松原	0
7	堀川	FP	山田	0
4	倉園	FP	南場	1
4	堀留	FP	梅沢	2
2	留奥	FP	佐藤	5
0	松本	FP	田島	3
0	前野	FP	渡辺	0
0	石原	FP	高橋	0
0	上久保	FP		
22	(0)	PT	(1)	11

（審・多田・杉山）

正強 24 〔12—8 12—7〕 15 函館有斗（北海道）

〔戦評〕前半は両チームとも思うように中央攻撃ができず、サイド、カット、速攻で得点を取り合い、12—7と正強のリードで前半を終了。

後半に入り、暑さのせいか函館に元気がなく、ディフェンスも甘くなり、正強が思い通りの展開を見せて押し切った。

得	〔正強〕		〔有斗〕	得
0	東田	GK	高橋	0
0	矢内	GK	鈴木	0
4	松江	FP	緋田	0
0	鶴田	FP	納谷	0
11	木村	FP	和泉	1
1	宮本	FP	中村	0
1	大橋	FP	白幡	5
1	樫原	FP	澤村	3
6	堀江	FP	渡部	3
0	上武	FP	中島	1
0	栄枝	FP	宮田	1
0	岡本	FP	鳶澤	1
24	(6)	PT	(1)	15

（審・北山・大原）

那賀 28 〔14—8 14—6〕 14 宮崎一（宮崎）

〔戦評〕スタートから那賀が古閑、金川を中心に速攻、セットと着実に得点を重ね、前半を14—6で終了した。

後半は宮崎が牛谷の速攻などで得点し、GK矢野根も活躍したが、那賀の優位は変わらず、28—14で押し切った。

得	〔那賀〕		〔宮崎一〕	得
0	正木	GK	矢野	0
0	加藤	GK	藤山	0
2	中露	FP	川越	1
8	古関	FP	宮野	4
1	飯野	FP	牛谷	3
0	小嶋	FP	宗方	2
2	福岡	FP	安藤	1
3	笠中	FP	渡辺	1
4	藤岡	FP	金子	0
7	金川	FP	岩佐	0
1	住田	FP	川越	2
0	田宮	FP	新坂	0
28	(0)	PT	(1)	14

（審・上久保・北井）

岡崎城西（愛知） 31 〔16—7 15—10〕 17 仙台育英

〔戦評〕岡崎城西は開始10分までに、金子のロング、石田の速攻などで7—2とリードを奪い、その後仙台育英も坂下のミドルなどで反撃、前半は15—10と岡崎城西の5点リードで折り返した。

後半に入ると、岡崎が育英のミスから速攻で得点を重ね、育英も後藤のロングなどで反撃したが及ばなかった。

得	〔城西〕		〔仙台育英〕	得
0	堀木	GK	佐藤	0
0	神谷	GK	舟橋	0
2	丹羽	FP	後藤	3
5	石田	FP	坂下	5
0	小野	FP	重田	5
10	金子	FP	大崎	4
5	清水	FP	高橋	0
3	小川	FP	水谷	0
3	橋本	FP	真田	0
3	山内	FP	丸山	0
0	山口	FP	大庭	0
0	牧野	FP	石井	0
31	(2)	PT	(3)	17

（審・中本・久保）

新居浜工（愛媛） 21 〔9—6 12—8〕 14 屋代

〔戦評〕立ち上がり両チームとも固さが見られたが、屋代・山本のサイドシュートで火蓋が切られた。15分過ぎまで一進一退の攻防が続いたが、20分過ぎより新居浜工が4連続得点をして12—8で前半を終了した。

後半は屋代が2点連取して追い上げの気配を見せたが、逆に新居浜工は6連続得点をして波に乗った。屋代は新居浜工のエース大西にマンツーマンディフェンスで必死に防戦するが、結局21—14で押し切られた。

得	〔新居浜〕		〔屋代〕	得
0	近藤	GK	北村	0
0	原	GK	倉石	0
7	白石	FP	中村	4
0	加藤	FP	西沢	2
0	藤原	FP	渡辺	0
2	森田	FP	小滝	4
0	井原	FP	今井	0
10	大西	FP	溝口	0
1	武田	FP	風間	0
0	村山	FP	山本	4
1	松本	FP	石坂	0
0	武方	FP	中沢	0
21	(2)	PT	(1)	14

（審・北山・大原）

横浜商工（神奈川）24 〔9—9 10—10 3—1 2—3〕 23 **岩陽**

〔戦評〕岩陽は中村を中心に、横浜商工は小沢を前面に出して多彩な攻撃を見せ、両チームともすばらしいゲーム展開を見せる。横浜はスカイプレーで決め、岩陽は終了直前のフリースローからのワンプレーで得点し同点で延長へ。
延長は横浜が1点差で幸くも逃げ切った。

得	〔横浜商工〕		〔岩陽〕	得
0	小野寺	GK	三牧	0
0	本郷		水谷	0
6	山地	FP	森田	5
8	小沢		藤谷	0
0	松沢		山田	2
0	後藤	〔審・上久保 北井〕	藤井	1
6	西村		田村	8
0	斉藤		中村	7
2	太刀川		吉村	0
0	中村		三ッ田	0
2	熊倉		中原	0
0	関根		木村	0
24	(2)	PT	(0)	23

3回戦

明星 22 〔9—8 7—8 2—0 4—2〕 18 **青森商**

〔戦評〕前半、両チームともスピードのある素晴らしいゲーム。青森・鈴木、明星・梶山のナイスキーピングが光り、前半は9—8と明星が一点をリードして終了。
後半、明星が速攻などで3点をリード。しかし、青森も明星退場の間に逆転、明星も残り1分に追いつき延長に。
延長は明星が2点を連取、そのまま青森をふり切った。

得	〔明星〕		〔青森商〕	得
0	梶山	GK	鈴木	0
0	小林		竹森	0
5	五島	FP	大村	1
0	金井		工藤	5
2	遠藤		木浪	3
4	田代	〔審・多田 杉山〕	金平	0
0	野島		佐藤	0
0	宍戸		澤田	1
5	島沢		岡村	2
5	高橋		牧野	2
0	斉藤		佐藤	0
1	佐藤		名古屋	4
22	(0)	PT	(1)	18

市川 18 〔7—6 11—7〕 13 **大分電波**

〔戦評〕前半、両チームとも速攻、ポストを織りまぜた攻撃からフェイント、ミドルの応酬で互角の展開。市川が前半終了前にPTを決め1点をリードして折り返す。
後半10分、9—9の同点から市川・太田のロングとカットインで13—9とリード、その後も着々と加点する。大分電波も萩本で応戦するが、合計7人の退場者を出した大分電波が波に乗れずに終わった。

得	〔市川〕		〔電波〕	得
0	浜松	GK	後藤忠	0
0	柴内		荒金	0
4	塚越	FP	入江	0
1	吉橋		妹尾	0
5	川上		薬師寺	0
2	武井	〔審・上久保 北井〕	後藤寛	2
3	太田		平松	0
3	松村		穴井	4
0	三宅		石本	4
0	岡田		萩本	3
0	吉田		宇多村	0
0	下西		工藤	0
18	(3)	PT	(3)	13

富岡 22 〔11—4 11—10〕 14 **湯沢**

〔戦評〕立ち上がり、富岡は速攻、セットと次々にノーマークをつくるが、湯沢GK下嶋の好守に阻まれ得点差を広げることができなかった。しかし、中盤以降リズムに乗り、前半を11—4で終了した。
後半、湯沢はポスト攻撃でPTを奪ったり、速攻で得点を取ったりするが、富岡の相手のミスからの速攻を確実に決めた22—11で勝利を得た。

得	〔富岡〕		〔湯沢〕	得
0	米沢	GK	下嶋	0
0	大塚		照井	0
1	斉藤	FP	本田	6
6	岩田		松田	3
1	神戸		高橋	3
1	小坂	〔審・北山 大原〕	佐藤	1
0	中野		高橋	0
0	大沢		佐藤	1
2	中島		近江	0
1	神戸		森田	0
2	吉本		佐藤	0
8	神戸		高橋	0
22	(1)	PT	(3)	14

熊本市商 18 〔9—6 9—9〕 15 **上宮**

〔戦評〕立ち上がり、両チームともに一進一退の攻防を見せる。22分から熊本市商が3点を連取して9—6で前半を終わる。
後半、上宮もよく動いて懸命の反撃を見せるが、前半の点差を守った熊本市商が逃げ切った。

得	〔熊本商〕		〔上宮〕	得
0	東	GK	菊野	0
0	西		樋口	0
0	蔵田	FP	小林	1
8	梅井		大川	3
2	久保田		真田	3
1	平田	〔審・高橋 伊藤〕	吉田	2
0	宮崎		森居	1
1	長松		中井	4
3	松谷		宮地	0
0	濱津		森島	1
3	加川		太田	0
0	益崎		安田	0
18	(1)	PT	(2)	15

浦和実 21 〔8—6 13—2〕 8 **長浜北**

〔戦評〕浦和実は立ち上がりジャンプシュート、カットインで加点、長浜北も互角に試合を進めていたが、2本のPTを落とし、10分で4—1と浦和実がリード。中盤、両チームとも雑な攻めが目立ち、リズムに乗れ切れず、8—6で前半を終了。
後半に入って、浦和実は疲れの見える長浜北に対して13分までに8点を連取して試合を決めた。長浜北もよく攻めたが、浦和GKの好守にあって最後までリズムに乗り切れなかった。

得	〔浦和実〕		〔長浜北〕	得
0	矢作	GK	上田	0
0	加藤		杉江	0
5	永山	FP	城楽	0
2	安藤		山口	3
1	田中		浅尾	1
0	佐藤	〔審・大河原 守屋〕	伊吹	3
2	浅利		河合	0
4	笹井		饗場	0
0	大成		山村	0
3	田村		藤井	0
4	二川		押谷	1
0	佐藤		中田	0
21	(3)	PT	(2)	8

正強 27（16－5、11－4）9 鹿児島工

〔戦評〕スピードに勝る正強が攻守に鹿児島工を上回り、大原のポストシュートなどで加点、一方鹿児島工も立山の速攻で踏張るが、前半は11－4と正強が7点をリードして終了。
　後半に入っても正強の速い動きに鹿児島工はついていけず、後半15分には3人が次々と退場、正強に大量リードを許した。鹿児島工もチャンスはつくるものの正強GK東田の好守になかなか得点できず、大差で敗れ去った。

得	〔正強〕		〔鹿児島工〕	得
0	東田	GK	加治屋	0
0	矢内	GK	松崎	0
3	松江	FP	立山	3
10	木村	FP	野崎	2
0	鶴田	FP	堀川	0
6	宮本	FP	倉園	1
4	大橋	FP	堀留	2
2	樫原	FP	留奥	1
2	堀江	FP	松本	0
0	上武	FP	前野	0
0	栄枝	FP	新福	0
0	岡本	FP	福元	0
27	(4)	PT	(0)	9

〔審・武智、松原〕

岡崎城西 21（9－10、12－6）16 那賀

〔戦評〕岡崎城西・金子のミドル、那賀・飯野のミドルシュートでスタートしたが、岡崎のディフェンスが堅く、単調になった那賀のオフェンスのスキを突いて、前半の得点12点のうち8点が速攻という内容が示す通り、「守って速攻」の典型的な展開となった。
　後半に入って、那賀も本来の攻撃のリズムを取り戻し、一気に差を詰めるが、岡崎城西も自チームの退場者が出た15分過ぎから奮起し、21－16で逃げ切った。

得	〔城西〕		〔那賀〕	得
0	堀木	GK	正木	0
0	神谷	GK	加藤	0
1	丹羽	FP	中露	0
2	石田	FP	古閑	3
0	小野	FP	飯野	4
5	金子	FP	小嶋	0
2	清水	FP	福岡	0
0	小川	FP	笠中	2
4	橋本	FP	藤岡	4
7	山ノ内	FP	金川	3
0	山口	FP	土岐	0
0	牧野	FP	田宮	0
21	(0)	PT	(0)	16

〔審・大村、山川〕

横浜商工 27（15－7、12－9）16 新居浜工

〔戦評〕前半、横浜商工の手渡しパスをよく守った新居浜工であったが、後半に入って新居浜工の足が止まり、リズムを取り戻した横浜商工が着実に加点した。
　新居浜工には前半のようなディフェンスが続かなかったのが惜しまれる。

得	〔横浜商工〕		〔新居浜工〕	得
0	小野寺	GK	近藤	0
0	本郷	GK	原	0
5	山地	FP	白石	2
8	小沢	FP	加藤	0
0	松沢	FP	藤原	0
1	後藤	FP	森田	2
7	西村	FP	井原	0
3	斉藤	FP	大西	4
3	太刀川	FP	武田	1
0	中村	FP	村山	5
0	熊倉	FP	松本	2
0	関根	FP	武方	0
27	(5)	PT	(0)	16

〔審・中本、久保〕

準々決勝

明星 29（14－9、15－6）15 市川

〔戦評〕前半、明星は速攻からの展開でリードを広げ、主導権を握る。市川も塚越のミドルやカットインで得点するが、明星の速いチェックで単発的な攻撃となる。
　後半に入っても明星は速攻、カットインで得点を重ね、点差を広げた。

得	〔明星〕		〔市川〕	得
0	梶山	GK	浜松	0
0	小林	GK	柴内	0
3	五島	FP	塚越	7
0	金井	FP	吉橋	0
5	遠藤	FP	川上	3
3	田代	FP	武井	4
2	野島	FP	太田	1
1	宍戸	FP	松村	0
5	島沢	FP	三宅	0
7	高橋	FP	岡田	0
1	斉藤	FP	吉田	0
2	佐藤	FP	下西	0
29	(2)	PT	(2)	15

〔審・北山、大原〕

熊本市商 24（15－10、9－10）20 富岡

〔戦評〕前半は両チームとも全員がよく走るスピーディなゲーム展開となり、一進一退の攻防が続いたが、富岡が1点をリードして終了。
　後半開始早々、富岡が3人の退場者を出す間に連続得点した熊本市商が一気にスパート、GKの好守もあり粘る富岡を振り切った。

得	〔熊本商〕		〔富岡〕	得
0	東	GK	米沢	0
0	西浦	GK	大塚	0
0	蔵田	FP	斉藤	0
5	梅井	FP	岩田	7
0	久保田	FP	神戸	1
11	平田	FP	小板橋	0
1	宮崎	FP	中野	0
1	長松	FP	大沢	0
6	松谷	FP	中嶋	2
0	濱津	FP	神戸	4
0	加川	FP	吉本	1
0	益崎	FP	神戸	5
24	(5)	PT	(4)	20

〔審・上久保、北井〕

浦和実 23（13－9、10－9）18 正強

〔戦評〕前半、正強は速い攻めからフェイント、手渡しを使い分け、7－5とリードするが、浦和実もサイド、ミドルで20分過ぎに並ぶ。
　後半、速攻とロングで浦和実が19－14と点差を広げる。この間5分間、正強はノーゴールで、結果的にこれが勝負を分けた。

得	〔浦和実〕		〔正強〕	得
0	矢作	GK	東田	0
0	加藤	GK	矢内	0
7	永山	FP	松江	1
4	安藤	FP	鶴田	0
0	田中	FP	木村	10
5	佐藤	FP	宮本	2
0	浅利	FP	大橋	1
3	笹井	FP	樫原	3
2	新井	FP	堀江	1
2	田村	FP	上武	0
0	二川	FP	栄枝	0
0	国吉	FP	岡本	0
23	(0)	PT	(4)	18

〔審・伊藤、高橋〕

岡崎城西 19（10－7、9－10）17 横浜商工

〔戦評〕立ち上がりから横浜商工が手渡しパスからのカットインプレーでリードするが、岡崎城西も粘りのあるディフェンスから速攻をくり出し、前半は横浜商工が1点リードして終了。

後半に入り、岡崎城西はGK神谷の再三の好守からの速攻が思うように決まり見事逆転勝ちを飾った。

	〔横浜商工〕	得	〔城西〕	得
GK	小野寺	0	堀木	0
GK	本郷	0	神谷	0
FP	山地	3	丹羽	2
FP	小沢	3	石田	1
FP	松沢	1	小野	0
FP	後藤	0	金子	4
FP	西村	6	清水	4
FP	斉藤	0	小川	1
FP	太刀川	3	橋本	4
FP	中村	0	山ノ内	3
FP	熊倉	1	山口	0
FP	関根	0	牧野	0
PT		(0) 17		(1) 19

（審・武智 松原）

準決勝

明星 27（12―7、15―10）17 熊本市商

〔戦評〕立ち上がり明星はポストとミドルで3―0とリード、熊本もサイド、ミドルで5―4と迫るが、明星が鋭い出足からの速攻で再び突き放し、12―7で前半を折り返す。

後半も明星が堅いディフェンスからの速攻で得点を重ね、セットになってもサイド攻撃が的確に決まり点差を広げる。スピードに勝る明星が10点差をつけて勝利を収めた。

	〔熊本商〕	得	〔明星〕	得
GK	東	0	梶山	0
GK	西浦	0	小林	0
FP	蔵田	1	五島	8
FP	梅井	2	金井	0
FP	久保田	1	遠藤	2
FP	平田	3	田代	0
FP	宮崎	0	野島	1
FP	長松	2	宍戸	0
FP	松谷	5	島沢	5
FP	濱津	0	高橋	7
FP	加川	2	斉藤	0
FP	益崎	1	佐藤	4
PT		(0) 17		(2) 27

（審・上久保 北井）

浦和実 26（14―3、12―12）15 岡崎城西

〔戦評〕前半立ち上がり両チームともに固さが見られ、シュートミスが目立つ。しかしGK加藤の好守、ディフェンス力に勝る浦和実が、速攻で確実に得点を重ねる。

一方岡崎城西は、立ち上がりのミスからリズムを崩したまま前半を終了、14―3と大差がついた。

後半も浦和実が先行する展開点差をますます広げるが、岡崎城西も金子のロングシュートが決まり出して追い上げを見せたが、時すでに遅く、浦和実が前半の大差を守って圧勝した。

	〔城西〕	得	〔浦和実〕	得
GK	堀木	0	矢作	0
GK	神谷	0	加藤	0
FP	丹羽	2	永山	7
FP	石田	0	安藤	6
FP	小野	1	田中	1
FP	金子	8	佐藤	3
FP	清水	2	浅利	0
FP	小川	0	笹井	4
FP	橋本	1	新井	1
FP	山ノ内	1	大成	0
FP	山口	0	田村	3
FP	牧野	0	二川	1
PT		(0) 15		(1) 26

（審・武智 松原）

準決勝、明星対熊本市商

準決勝、浦和実対岡崎城西

決勝

浦和実 19（9―8、10―9）17 明星

〔戦評〕前半立ち上がり、リズムをつかめない明星に対し、浦和実はGK加藤の好守と安藤のロングシュート、田村のポストシュートなどで常にリードを保つ。前半18分、明星の五島、田代のロングシュートが決まり出だし、前半は9―8と浦和実の1点リードで折り返す。

後半、依然としてリズムをつかめない明星に対して浦和実の速攻が連続して決まる。後半10分には6点差がつき、圧勝するかに見えたが、20分にリズムを取り戻しかけた明星の速攻が連続して決まりゲームが白熱する。しかし、後半の立ち上がりの点差が響き、19―17で浦和実が逃げ切った。

	〔明星〕	得	〔浦和実〕	得
GK	梶山	0	矢作	0
GK	小林	0	加藤	0
FP	五島	4	永山	6
FP	金井	0	安藤	5
FP	遠藤	4	田中	0
FP	田代	4	佐藤	1
FP	野島	0	浅利	0
FP	宍戸	0	笹川	1
FP	島沢	1	新井	0
FP	高橋	3	大成	0
FP	斉藤	0	田村	5
FP	佐藤	1	二川	1
PT		(1) 17		(1) 19

（審・野中 竹村）

決勝、浦和実対明星

女子

1回戦

川口北（埼玉） 12〔7—6, 5—4〕10 函大付女商（北海道）

〔戦評〕両チームともに固さがあり、リズムが見られず、ミスが目立った。前半終了前に川口北が連取して1点をリードして折り返す。
後半に入り、函大付属女商はPT、ポストなどでいったんは逆転するが、川口北もミドル、PTで再度リードを奪い、カットイン、ミドルなどで加点して逃げ切った。

〔函大付〕

	選手	得
GK	佐藤裕	0
FP	和歌	1
	佐藤か	0
	鹿戸	0
	岡崎	1
	森山	5
	松坂	0
	小島	2
	三輪	1
	長谷川	0
	桜井	0
PT	(3)	10

〔川口北〕

	選手	得
GK	小室	0
	亀井	0
FP	福田	4
	丸田	2
	木下	0
	能代	2
	井上	0
	千葉	4
	吉原	0
	藤崎	0
	高野	0
	斉藤	0
PT	(1)	12

〔審・島崎 井上〕

山陽女（広島） 26〔13—5, 13—9〕14 大曲農（秋田）

〔戦評〕前半、山陽女の速攻がよく決まり、その後も着々と加点し前半を13—5とリードした。
後半、大曲農もセットプレーでよく応戦するが、山陽女もサイドシュートがよく決まり、結局26—14と快勝した。

〔大曲農〕

	選手	得
GK	大澤	0
	武藤	0
FP	千田	7
	加藤	0
	松本	0
	小松	0
	高橋	1
	千田	1
	高橋	1
	細井	0
	中村	1
	本杉	3
PT	(2)	14

〔山陽女〕

	選手	得
GK	久保	0
	井上	0
FP	土師	7
	飯田	4
	松本	8
	横田	2
	許田	3
	村実	0
	岡本	0
	今田	2
	横山	0
	川口	0
PT	(3)	26

〔審・大河原 守屋〕

本庄（宮崎） 23〔12—4, 11—5〕9 青森中央（青森）

〔戦評〕前半立ち上がり、青森中央のミスから本庄が得点を重ねる。本庄は速いパスワークからのシュート、広瀬のロングシュートがよく決まり、12—4と大きくリードして前半を終了。
後半に入っても青森中央のミスが目立ち、本庄が正確なパス、速攻、ロングシュートで着々と加点、23—9で勝利を収めた。

〔青森中央〕

	選手	得
GK	高坂	0
	前田	0
FP	対馬	1
	佐藤	0
	大宮	2
	木立	0
	秋元	2
	相馬	4
	花田	0
	清川	0
	福井	0
	鹿内	0
PT	(1)	9

〔本庄〕

	選手	得
GK	倉田	0
	長嶺	0
FP	外山	1
	桑原	4
	小谷	0
	阿部	5
	島脇	3
	日高	3
	小森	0
	小牧	1
	茶木	2
	広瀬	4
PT	(2)	23

〔審・野中 竹村〕

水海道二（茨城） 27〔13—3, 14—3〕6 新宮（和歌山）

〔戦評〕前半の立ち上がり両チームともに動きに固さが見られたが、水海道二は内藤のミドルシュートで得点を重ね、次第に攻撃のリズムをつかみ、パスカット、相手ミスからの速攻などで大量リードを奪った。新宮も必死に反撃するが攻撃が単調になってしまい、ミスも多かった。
後半も水海道二のペースで選手の動きにも余裕が見られ、一方的な試合となった。

〔新宮〕

	選手	得
GK	松實	0
FP	青山	1
	高田	1
	下山	2
	福嶋	0
	楠本	2
	村上	0
	谷口	0
	小嶋	0
	岡崎	0
	東	0
PT	(0)	6

〔水海道二〕

	選手	得
GK	吉田	0
	柴	0
FP	横田	3
	内藤	4
	八十岡	7
	山本	2
	門井	1
	古矢	1
	山下	3
	木橋	2
	高橋	3
	小谷内	1
PT	(0)	27

〔審・佐藤 真嶋〕

新潟江南（新潟） 20〔8—6, 12—5〕11 高知東（高知）

〔戦評〕前半、押し気味に新潟江南が攻めるが、シュートミスが多く、逆に前半終了5分前までは高知東が少ないチャンスを得点に結びつけてリードした。しかし、神林のロング、磯部の速攻などで逆転、結局前半は新潟江南が2点をリードして折り返す。
後半に入り、高知東は野島のステップシュートで同点に追いついたが、高知東のミスが目立ち、新潟江南の速攻を許してリードを広げられ、結局20—11で新潟江南が勝利を収めた。

〔高知東〕

	選手	得
GK	矢野	0
	長岡	0
FP	三谷	1
	山脇	0
	久永	1
	荻原	1
	井上	2
	近藤	1
	大山	0
	野島	5
	柳井	0
	井上	0
PT	(0)	11

〔江南〕

	選手	得
GK	永井	0
	今泉	0
FP	磯部	5
	須貝	3
	野沢	0
	宇井	1
	神林	8
	渋谷	0
	坂上	3
	五十嵐	0
	結城	0
	長谷川	0
PT	(2)	20

〔審・大河原 守屋〕

熊毛北（山口） 18〔8—5, 10—8〕13 大分雄城台（大分）

〔戦評〕前半、両チームともにパスミスやノーマークシュートを落とすなど、やや固さの見られるゲーム展開であった。
後半に入り、熊毛北はフローターの末弘、植田のミドルシュートを中心に加点し、一方雄城台は徳光、甲斐を中心にサイド、ポストなどの攻撃を試みたが一歩及ばず熊毛北が勝利を治めた。

〔雄城台〕

	選手	得
GK	山崎	0
	遠竹	0
FP	天野	0
	甲斐	4
	徳光	5
	高島	2
	園田	0
	山下	1
	田代	0
	二村	0
	児玉	0
	古宅	1
PT	(0)	13

〔熊毛北〕

	選手	得
GK	松村	0
	西本	0
FP	白木	0
	末弘	7
	植田	5
	中野	2
	中尾	2
	藤井	1
	南	0
	栗山	1
	山田	0
	掛谷	0
PT	(4)	18

〔審・野中 竹村〕

読谷（沖縄） 20〔9—11, 11—7〕18 暁（三重）

〔戦評〕攻撃が似たチーム同士の戦いとなり、前半から点の取り合いとなり、暁が11—9と2点をリードして前半を終了。
後半に入って読谷がすぐに追いつき、以後一進一退の展開となる。残り2分に読谷が一歩リードを奪い、残り1分に決定的な得点をあげてふり切った。

〔暁〕

	選手	得
GK	高橋	0
	内田	0
FP	水谷	0
	江川	9
	野田	2
	倭	0
	石原	1
	豊田	3
	岡	0
	渥美	2
	中川美	1
	中川幸	0
PT	(3)	18

〔読谷〕

	選手	得
GK	松田ゆ	0
	松田紀	0
FP	松田直	3
	比嘉さ	0
	冨着	6
	比嘉久	1
	新垣み	1
	池原	0
	大城	7
	新垣直	0
	池宮城	0
	松田紀	2
PT	(2)	20

〔審・島崎 井上〕

静岡城北（静岡） 19〔7—3, 12—6〕9 盛岡二（岩手）

〔戦評〕立ち上がりは互いに固くシュートミスやパスミスが多く、前半10分までは2—1と静岡城北がリードした。10分過ぎから城北の動きが良くなり、ポストをうまく使って得点を重ね、7—3として前半を終了。
後半に入って、城北は盛岡二のミスから速攻などで得点を重ね、リードを広げていった。盛岡二はパスミスやシュートミスが多く、城北GK上島の好守にもあって追い上げはならなかった。

〔盛岡二〕

	選手	得
GK	斉藤	0
GK	富田	0
FP	荒井	3
FP	浅沼	0
FP	石倉	2
FP	池田	0
FP	谷口	0
FP	西條	0
FP	北村	2
FP	工藤	2
FP	藤澤	0
PT	(3)	9

（審・佐藤、真嶋）

〔城北〕

	選手	得
GK	上島	0
GK	加藤	0
FP	加納	0
FP	中山	2
FP	中島	0
FP	深見	4
FP	池田	2
FP	安池	5
FP	川島	3
FP	柿下	0
FP	柴戸	3
FP	青島	0
PT	(3)	19

高松商（香川） 25 〔10—1 / 15—4〕 5 **本宮**（福島）

〔戦評〕高松商が試合開始早々サイドシュート、ロングシュートで加点し、主導権を握る。リズムに乗った攻撃、巧みなパスワークで前半を10—1で終る。

後半に入っても速い動きとコンビの取れた守りで高松商が着々とリードを広げ、25—5という大差で勝利を収めた。

〔本宮〕

	選手	得
GK	佐藤弘	0
GK	石原	0
FP	佐藤純	1
FP	三瓶純	2
FP	高橋	0
FP	平	0
FP	梢	1
FP	武田	0
FP	久岐	0
FP	三瓶京	0
FP	渡辺	0
FP	丹伊田	1
PT	(0)	5

（審・大原、成岡）

〔高松商〕

	選手	得
GK	木村	0
GK	武田	0
FP	植松	1
FP	入江	1
FP	小川	0
FP	溝渕	1
FP	畠山	4
FP	平田	4
FP	十家	5
FP	村井	1
FP	熊野	2
FP	藤田	6
PT	(3)	25

吉田（山梨） 20 〔6—7 / 11—10 / 2—1 / 1—0〕 18 **養老女商**（岐阜）

〔戦評〕両チームとも元気あふれ、堀内のシュート力と展開力を中心に組み立てる吉田に対し、養老女商は速攻で全員がよくパスをつなぎ、立ち上がりから一進一退の展開。7—6と養老が1点をリードして前半を終る。

後半、一時は11—7と養老が4点をリードするが、吉田も必死の反撃を見せて残り2分に追いつき延長に入る。延長では先手を取った吉田がそのまま逃げ切り、見事逆転勝ちを収めた。

〔養老女商〕

	選手	得
GK	伊藤	0
GK	中村	0
FP	児玉	1
FP	古宮山	6
FP	佐藤恵	0
FP	野口	1
FP	大橋	2
FP	佐藤郁	2
FP	徳永	2
FP	安藤	4
FP	大杉	0
FP	古沢	0
PT	(3)	18

（審・大塚、額田）

〔吉田〕

	選手	得
GK	渡辺	0
GK	加々美	0
FP	羽田由	1
FP	堀内	8
FP	早川恵	0
FP	志村	0
FP	早川富	8
FP	加藤	2
FP	天野	0
FP	吉永	0
FP	木暮	1
FP	羽田明	0
PT	(3)	20

彦根商（滋賀） 14 〔7—6 / 7—6〕 12 **国学院栃木**（栃木）

〔戦評〕彦根商が前半5分で3—0とリード。しかし、国学院栃木もGKの好守とサイド攻撃などから一時は5—3と逆転。残り5分の速攻勝負で彦根商が再逆転して7—6で前半を終了。

後半、国学院が5分に追いつき以後残り3分まで1点を争うシーソーゲーム。残り2分半、彦根商は1人足りなかったが山尾がロングシュートを決めて、これが決勝点となって逃げ切った。

〔栃木〕

	選手	得
GK	秋房	0
GK	堅口	0
FP	高橋	0
FP	寺内久	4
FP	新井	2
FP	寺内直	1
FP	西村	2
FP	若林	3
FP	山口	0
FP	藤栄	0
FP	大橋	0
FP	松本	0
PT	(3)	12

（審・中川、佐賀）

〔彦根商〕

	選手	得
GK	川崎	0
GK	北川	0
FP	吉本	1
FP	浅居	1
FP	山尾	5
FP	井出	2
FP	森	1
FP	安藤	0
FP	松山	4
FP	馬場	0
FP	向田	0
FP	森	0
PT	(3)	14

熊本女商（熊本） 23 〔9—6 / 14—8〕 14 **境**（鳥取）

〔戦評〕前半両チームとも動きが悪く、10分過ぎまで2点ずつだったが、中盤過ぎ熊本女商が徐々に地力を発揮し、速いパスワークからシュートを決めて点差を広げ、3点をリードして前半を終った。

後半に入り、熊本は杉本、田中、鶴田などの活躍でミドル、速攻で着実に加点、境もミドル、ポストで対抗したが、個人技に勝る熊本の前には力及ばず敗れ去った。

〔境〕

	選手	得
GK	新谷	0
GK	川部	0
FP	新田	1
FP	中西	1
FP	南	0
FP	立花	2
FP	遠藤	4
FP	後藤	5
FP	板倉	1
FP	足立	0
FP	根平	0
FP	阿部	0
PT	(2)	14

（審・長井、加藤）

〔熊本女商〕

	選手	得
GK	城下	0
GK	岩本	0
FP	高洲	0
FP	杉本	5
FP	日坂	1
FP	山田	2
FP	田中	6
FP	鶴田	3
FP	高橋	0
FP	田中	1
FP	浜	1
FP	森下	4
PT	(5)	23

佐久（長野） 15 〔5—4 / 10—7〕 11 **中村**（高知）

〔戦評〕前半、中村が押し気味に試合を運ぶが、シュートミスが多く、終ってみれば逆に5—4と佐久が1点をリードする。

後半15分ごろ、9—8と佐久の1点リードの場面で中村に3人の退場者が出て、この間に佐久が4点差として逃げ切った。

〔中村〕

	選手	得
GK	浜口	0
GK	楠	0
FP	横山	0
FP	安岡	1
FP	岡村	0
FP	江口	8
FP	有友	0
FP	植田	0
FP	篠田	0
FP	渡辺	0
FP	橋田	0
FP	杉本	2
PT	(0)	11

（審・大塚、額田）

〔佐久〕

	選手	得
GK	奥深山	0
FP	井上	0
FP	藤沢	0
FP	大井	5
FP	土居	2
FP	酒井	1
FP	佐藤	2
FP	船坂	3
FP	千原	2
FP	田辺	0
FP	大塚	0
PT	(1)	15

和泉（神奈川） 18 〔10—8 / 8—5〕 13 **玉野光南**（岡山）

〔戦評〕和泉は、木暮、中山の両ポストを使った手渡しパスからの攻撃に対し、玉野光南は栗山のロング、鷹田のサイド攻撃で前半を10—8で折り返した。

後半に入り、玉野光南がパスミスやシュートミスでリズムに乗れ

〔玉野〕

	選手	得
GK	清武	0
GK	片岡	0
FP	小野	0
FP	栗山	3
FP	鷹田	3
FP	下方	0
FP	藤井	0
FP	森	0
FP	出原	1
FP	高塚	0
FP	小倉	4
FP	吉川	2
PT	(0)	13

（審・松原、武智）

〔和泉〕

	選手	得
GK	本間	0
GK	小山	0
FP	木暮	1
FP	山下	1
FP	松永	1
FP	石井	0
FP	吉田	0
FP	中山	0
FP	森谷	8
FP	国府田	5
FP	芳賀	0
FP	兼頭	2
PT	(6)	18

ないのに対し、和泉はコンビプレー、速攻で点差を広げていった。

西宇治（京都）16 ｛5—8 / 11—7｝ 15 北村山（山形）

〔戦評〕北村山ペースの試合展開で中盤には6—1となるが、西宇治も速攻などで点差を詰め、前半は8—5と北村山が3点をリードして終る。
　後半に入り、北村山の退場の間に西宇治はリズムをつかみ、12分にPTで同点とし、速攻、カットインなどでリードを奪い、1点差で逃げ切った。

〔北村山〕	得		〔西宇治〕	得
高橋	0	GK	内田	0
小川	0	GK	仲間	0
瀬野	3	FP	大澤	3
今野	3	FP	國領	0
青木	2	FP	井目	0
石川	0	FP	卯路	5
押切	1	FP	内山	0
星川	4	FP	和田	1
渡辺	0	FP	高木	3
川田	0	FP	笹部	1
満越	0	FP	小山	3
高嶋	2	FP	金森	0
(1)	15	PT	(2)	16

（審・長井　加藤）

文大附杉並（東京）20 ｛11—10 / 9—9｝ 今治南（愛媛）

〔戦評〕前半、文大附杉並は永山の切れ味、鋭いロングシュートを中心に絶えずリードを奪う。一方粘りのある今治南は、森を中心として速攻で組み立て、追い上げを見せて11—10で前半を終了。
　後半、今治南が10分過ぎに逆転に成功。以後互いに必死の攻防を展開したが、再逆転した文大杉並が1点差、幸くも逃げ切った。

〔今治南〕	得		〔文大杉並〕	得
鳥生	0	GK	小泉	0
中村	0	GK	下田	0
渡辺	2	FP	中村	1
加藤	2	FP	永山	15
高田	3	FP	小柳	1
越智	0	FP	中野	3
長野	1	FP	東郷	0
森	10	FP	大谷	0
池田	0	FP	藤本	0
廣瀬	1	FP	街風	0
竹中	0	FP	前田	0
村上	0	FP	新川	0
(4)	19	PT	(4)	20

（審・佐藤　鎌田）

2回戦

夙川学院（兵庫）18 ｛9—7 / 9—6｝ 13 川口北

〔戦評〕前半、夙川が大森の速攻、西口のロングシュートで終始リードするが、川口北も福田のロングシュートで反撃、離されては追いつく粘り強さを見せ、前半を9—7の2点差で折り返す。
　後半も川口北が粘りを見せ、15には同点に追いついた。しかし、地力に勝る夙川が江崎のロングシュート、速攻が決まりだして18—13で振り切った。

〔川口北〕	得		〔夙川〕	得
小室	0	GK	松田	0
亀井	0	GK	平塚	0
福田	9	FP	伊藤	2
丸田	1	FP	西口	5
木下	0	FP	新村	1
能代谷	0	FP	大林	3
井上	0	FP	田渕	0
千葉	2	FP	田口	1
吉原	1	FP	岡	0
藤崎	0	FP	戸高	2
高野	0	FP	江崎	3
斉藤	0	FP	巽	1
(3)	13	PT	(3)	18

（審・佐藤　鎌田）

山陽女 20 ｛11—2 / 9—6｝ 8 神埼農（佐賀）

〔戦評〕開始早々は両チームにやや固さが見られ、神埼農がPTで先取点を奪う。しかし、地力に勝る山陽女は、土師を中心に多彩な攻撃で中盤より7点を連取、試合を決定づけた。
　後半に入っても、山陽女の攻撃はやまず、確実に加点していった。

〔神埼農〕	得		〔山陽女〕	得
古澤	0	GK	久保	0
三井所	0	GK	井上	0
重松	4	FP	土師	7
山本	1	FP	飯田	3
島	2	FP	松本	4
中村	1	FP	横田	1
中島	0	FP	許田	3
江頭	0	FP	村実	0
黒田	0	FP	岡本	1
田口	0	FP	今田	1
古賀	0	FP	横山	0
島	0	FP	川口	0
(3)	8	PT	(4)	20

（審・長井　加藤）

本　庄 23 ｛9—6 / 14—4｝ 10 松江市女（島根）

〔戦評〕本庄の速い動きとボール回しに松江市女はついていけず、前半は松江市女のディフェンスが振り回されて痛いPTを数多く取られた。
　後半も本庄の一方的な攻撃展開で攻めあぐむ松江市女を尻目に着々と加点して大差をつけた。

〔松江女〕	得		〔本庄〕	得
野津昌	0	GK	倉田	0
和田	0	GK	長嶺	0
田中	0	FP	外山	4
桑名	0	FP	桑原	6
岸	1	FP	小谷	0
高梨	3	FP	阿部	2
野津由	6	FP	島脇	0
葛岡	0	FP	日高	2
釜屋	0	FP	小森	0
藤本	0	FP	小牧	4
渡部	0	FP	茶木	2
吉岡	0	FP	広瀬	3
(1)	10	PT	(7)	23

（審・中川　佐賀）

水海道二 15 ｛8—3 / 7—4｝ 7 福井商（福井）

〔戦評〕前半10まで互角にわたり合うが、福井商は水海道二の堅いディフェンスを攻めあぐみ、一方水海道二は着実な個人技でパスをつなぎ、着々と得点を重ねてリードする。
　後半、必死に挽回を図る福井商であったが、差を縮めるに至らなかった。

〔福井商〕	得		〔水海道二〕	得
田中	0	GK	吉田	0
森	0	GK	柴	0
松村	2	FP	横田	2
北村	1	FP	内藤	2
村上	1	FP	八十岡	4
辻	1	FP	山本	2
矢尾	1	FP	門井	0
朝倉	0	FP	飯野	1
倉臼	1	FP	古矢	0
田中	0	FP	山下	1
出口	0	FP	高橋	2
斉藤	0	FP	小谷内	1
(1)	7	PT	(4)	15

（審・大塚　額田）

新潟江南 16 ｛5—5 / 11—4｝ 9 添　上（奈良）

〔戦評〕前半、新潟江南は神林のロング、ポストプレーで、添上は早いパス回しでカットインと攻撃を見せるが、両チームとも攻め切れずに苦しんだ。
　後半に入っても両チームとも決め手がなく、14分頃、ラフプレーにより添上の杉原、嶋田が退場した間にPT、速攻と確実に得点しリードを奪う。その後新潟江南は波に乗り、点差を広げて16—9で押し切る。

〔添上〕	得		〔江南〕	得
開田	0	GK	永井	0
		GK	今泉	0
嶋田	3	FP	磯部	3
辻	0	FP	須貝	1
国分	1	FP	野沢	0
宮原	0	FP	宇井	0
井口	5	FP	神林	9
杉原	0	FP	渋谷	1
福本	0	FP	坂上	2
岡田	0	FP	五十嵐	0
		FP	結城	0
		FP	長谷川	0
(3)	9	PT	(6)	16

（審・佐藤　鎌田）

熊　毛　北 18 ｛8—6 / 10—5｝ 11 群女短大付（群馬）

〔戦評〕群馬女短大付がPTで先行するが、熊毛北はフリースロー、スタンディング、速攻などで得点する。群馬もサイド、ポスト、速攻などで加点し、2点差で前半を終了。
　後半に入り、熊毛北は走力を生かし、速攻、カットインなどで加点する。これに対して群馬も反撃するが、相手GKの好守に阻まれる。

〔群短附〕	得		〔熊毛北〕	得
大野	0	GK	松村	0
神山	0	GK	西本	0
小川	4	FP	白木	3
猿井	0	FP	末弘	8
倉林	1	FP	植田	4
浅香	1	FP	中野	2
佃	0	FP	中尾	0
発地	2	FP	藤井	0
清水	1	FP	南	0
高山	0	FP	栗山	1
美才治	2	FP	山田	0
飯塚	0	FP	掛谷	0
(1)	11	PT	(4)	18

（審・島崎　井上）

読谷 20〔11−8 / 9−5〕13 富岡東（徳島）

〔戦評〕基本に忠実な富岡東は粘り強く先行する読谷に食い下がり前半を11−8で折り返す。
後半に入ると、戦術的にも一日の長がある読谷が徐々に点差を広げて逃げ切った。
読谷のプレーもさることながら全員で確実にボールをつないでシュートチャンスに結びつけようとする富岡東のチームプレーも好感がもてた。

〔富岡東〕

	氏名	得
GK	辻	0
FP	程野	2
	関原	3
	竹村	1
	山本	0
	井上	7
	板東	0
	中飯	0
	折野	0
	弘	0
	計	13
	PT	(4)

（審・額田・大塚）

〔読谷〕

	氏名	得
GK	松田	0
	松田	0
FP	松田	6
	比嘉	0
	冨着	6
	山城	1
	比嘉	1
	新垣	0
	大城	5
	新垣	1
	池宮城	0
	松田	0
	計	20
	PT	(0)

昭和学院（千葉）22〔12−6 / 10−7〕13 静岡城北

〔戦評〕前半は両チームともセットでの攻防となり一進一退となったが、昭和学院は17分に静岡城北の池田の退場の間に3点を連取してリズムをつかみ、6点をリードして前半を終了。
後半も要所でフォーメーションプレーを決めた昭和が快勝した。

〔城北〕

	氏名	得
GK	上島	0
	加藤	0
FP	加納	3
	中山	2
	中島	0
	深見	0
	池田	0
	安池	2
	川島	0
	柿下	0
	柴戸	6
	青島	0
	計	13
	PT	(0)

（審・長井・加藤）

〔昭和〕

	氏名	得
GK	時田	0
FP	鳥海	5
	中村	5
	村越	1
	田上	1
	林	1
	大野	0
	竹田	6
	舘下	0
	福永	0
	山田	3
	計	22
	PT	(2)

小松商（石川）19〔8−5 / 11−6〕11 高松商

〔戦評〕前半、小松商、高松商ともによくディフェンスして相手のミスから速攻をしかける展開となった。高松商は、ポストへのパスミスやサイドシュートは小松商GK馬場に阻まれ5点にとどまった。一方、小松商も速攻をしかけリードを奪った。
後半は互いによく走り、高松商はカットイン、ポストプレーに、小松商は速攻、ステップと点を取り合った。しかし、終盤、高松商がミスを多くだし、そこを小松商につけこまれてステップ、速攻を決められ勝負は決まった。

〔高松商〕

	氏名	得
GK	木村	0
	武田	0
FP	植松	1
	入江	0
	小川	0
	溝渕	0
	畠山	1
	平田	2
	十家	2
	村井	0
	熊野	1
	藤田	4
	計	11
	PT	(0)

（審・島崎・井上）

〔小松商〕

	氏名	得
GK	馬場	0
	宇野	0
FP	畠中	2
	河原	4
	角	5
	田島	0
	米田	0
	西木	0
	東	2
	藤田	0
	清水	6
	山口	0
	計	19
	PT	(0)

佐世保北（長崎）10〔5−1 / 5−7〕8 吉田

〔戦評〕速攻を連発する佐世保北が有利に試合を展開する。吉田はノーマークを再三つくるが、佐世保北GK前川の好守により得点ができないまま前半好守により得点ができないまま前半をロングシュート1点の5−1というスコアーで折り返す。
後半、吉田も得点を重ねるが、やはりミスが多く、速攻を中心とした佐世保北に押し切られた。

〔吉田〕

	氏名	得
GK	渡辺	0
	加々美	0
FP	羽田由	0
	堀内	5
	早川恵	0
	志村	0
	早川富	2
	加藤	1
	天野	0
	吉永	0
	木暮	0
	羽田明	0
	計	8
	PT	(2)

（審・大原・成岡）

〔佐世保北〕

	氏名	得
GK	前川	0
	久保田	0
FP	赤木	2
	大坪	0
	松山	1
	森田	3
	田中	2
	副島	2
	久保	0
	富岡	0
	山添	0
	計	10
	PT	⓪

彦根商 13〔7−3 / 6−6〕9 聖和学園（宮城）

〔戦評〕前半10分頃まで両チームともに攻守に活発に試合していたが、セットと走力に勝る彦根商が山尾を中心に着実に加点し7−3で終る。
後半、少し疲れが出た彦根商に対し聖和はポスト、サイドシュートと反撃に出たが、前半の貯金で逃げ切った。

〔聖和〕

	氏名	得
GK	相沢	0
	庄司	0
FP	佐藤	2
	佐藤	0
	桜井	0
	小山	0
	目黒	0
	八重樫	2
	藤田	2
	山口	0
	三嶋	0
	石垣	3
	計	9
	PT	(1)

（審・野中・竹村）

〔彦根商〕

	氏名	得
GK	川崎	0
	北川	0
FP	吉本	2
	山尾	4
	浅居	0
	井出	1
	林	2
	安藤	1
	松山	2
	馬場	1
	向田	0
	森	0
	計	13
	PT	(2)

熊本女商 17〔4−4 / 13−2〕9 小杉（富山）

〔戦評〕前半、熊本女商はシュートミスが多く、15分までは小杉のペース。20分熊本・田中のフェイントからのカットインで2−2の同点。小杉GKの好守もあって4−4で前半を終了。
後半に入り、熊本が走りでサイドで連続8得点で12−4と大きくリードを奪う。小杉も懸命に反撃を見せるが、熊本の走りについていけず17−6と大差をつけられて敗れる。

〔小杉〕

	氏名	得
GK	島倉	0
FP	下条	1
	竹内	0
	川腰	0
	今泉	0
	石田	2
	島	0
	大郷	0
	大前	3
	片林	0
	市橋	0
	計	6
	PT	(3)

（審・大河原・守屋）

〔熊本女商〕

	氏名	得
GK	城下	0
	岩本	0
FP	高洲	0
	杉本	2
	日坂	2
	山田	0
	田中	4
	鶴田	1
	高橋	0
	田中	0
	森下	7
	今村	1
	計	17
	PT	(3)

宣真（大阪）35〔17−1 / 18−5〕6 佐久

〔戦評〕前半、宣真は堅り守りから中井の速攻で主導権を握り、佐久を圧倒した。佐久も船坂のロングシュートを中心に攻めるが、宣

真GK上田の好守にあい、得点が伸びなかった。
宣真は全員が攻守ともによくかみ合い、GK以外は全員が得点をあげた。

得	〔宣真〕		〔佐久〕	得
0	辻	GK	奥深山	0
0	上田			
7	荒川		千原範	0
1	日野	FP	井上	0
2	長藤		藤沢	0
6	木口		大井	0
1	田代	〔審・大村	土屋	0
2	中尾	山川〕	酒井	1
3	中里		佐藤	2
6	中井		船坂	2
4	稲次		千原玲	0
3	関		大塚	1
35	(8)	PT	(0)	6

和泉16（9—6、7—4）10 大島（鹿児島）

〔戦評〕ロングヒッターのいない両チームは、ボール前の短いパスプレーを行うが、堅い守りに阻まれ得点が伸びなかった。大島は前半10分過ぎからフローター安田にマンツーマン・ディフェンスをつけられたため攻撃のリズムがつかめなかった。一方和泉は、大島の退場のスキに着々と加点、勝利を収めた。

得	〔和泉〕		〔大島〕	得
0	本間	GK	八下田	0
0	小山		山元	0
2	木暮		谷山	1
0	山下	FP	亀山	1
1	松永		森井	1
1	石井		堯	0
1	吉田	〔審・野中	安田	7
0	中山	竹村〕	赤塚	0
3	森谷		中原	0
3	国府田		松村	0
0	芳賀		松原	0
5	兼頭		仲谷	0
16	(1)	PT	(4)	10

西宇治13（7—3、6—6）9 九州女（福岡）

〔戦評〕立ち上がり九州女が意識し過ぎて連続2本PTを与え、逆速攻で3—0と西宇治にリードを許したが、逆に2連続PTで1点差とした。しかし、西宇治の堅い守りにミスの連続、結局7—3で前半を折り返す。
後半開始早々、九州女は中野のミドル、田中のカットインなどで連続3得点し1点差とした。しかし、西宇治も2本のPT、小山のサイドなどで再び突き放し、その後一進一退の展開となったが、前半の点差を守った西宇治が逃げ切った。

得	〔西宇治〕		〔九州女〕	得
0	内田	GK	大浦	0
0	仲間		石橋	0
6	大澤		田中	4
0	國領	FP	中野	2
0	井月		石橋	0
4	卯路		高田	0
0	内山	〔審・大河原	佐々木	0
1	和田	守屋〕	藤原	3
1	高木		勝見	0
0	笹部		鶴	0
1	小山		山川	0
0	金森		小島	0
13	(4)	PT	(3)	9

名短付（愛知）20（9—6、11—5）11 文大杉並

〔戦評〕速攻を中心とする名短付に対し、スローペースでゲームを運ぶ文化女子大杉並の対象的なチームの対戦となった。文大杉並は永山のステップシュートで着実に得点を重ね名短付に食い下がった。
名短付はマイペースを保てず、苦しいゲーム運びで前半を終了した。
後半に入り、両チームとも自分たちのペースでゲームを運ぶことができるようになり、名短付はハイペースでゲームを運び、着実に得点を重ねて勝利を収めた。

得	〔名短附〕		〔文大杉並〕	得
0	柴田	GK	小泉	0
0	平山		下田	0
10	飯田雅		中村	1
2	塩田	FP	永山	8
1	合田		小柳	1
0	中田		中野	1
3	山田	〔審・大村	東郷	0
2	飯田和	山川〕	大谷	0
2	武藤		街風	0
0	鈴木		前田	0
0	加藤		新川	0
0	川口			
20	(2)	PT	(2)	11

3回戦

夙川学院16（7—3、9—2）5 山陽女

〔戦評〕前半立ち上がり、互いにスピードある攻撃と堅い守りで五分にわたり合う。しかし、速攻に勝る夙川が徐々に追加点をあげる。夙川・大林、西口のPTによって点差が開いた。
後半、夙川GK松田、山陽女GK久保が互いに好守を見せるが、山陽女は夙川のディフェンスを崩せず得点があげられず、逆に攻撃の乱れから夙川の連続得点を許して大差で敗れた。

得	〔夙川〕		〔山陽女〕	得
0	松田	GK	久保	0
0	平塚		井上	0
1	伊藤		土師	3
6	西口	FP	飯田	0
0	新村		松本	0
4	大林		横田	0
0	田渕	〔審・野中	許田	1
3	田口	竹村〕	村実	0
0	岡		岡本	0
0	戸高		今田	1
2	江崎		横山	0
0	巽		川口	0
16	(4)	PT	(1)	5

水海道二15（8—5、7—6）11 本庄

〔戦評〕本庄の外山がカットインから先取点をあげるが、水海道二もすぐに八十岡のミドルシュートで追いつき、10分過ぎまで一進一退の展開。その後、セットからのポスト、カットインからPTを誘い、前半を8—5で折り返す。
後半に入り、水海道二は速攻、ミドルシュートなどで5点をリード。しかし本庄も桑原の活躍で追い上げたが及ばなかった。

得	〔水海道二〕		〔本庄〕	得
0	吉田	GK	倉田	0
0	柴		長嶺	0
1	横田		外山	2
0	内藤	FP	桑原	4
7	八十岡		小谷	0
2	山本		阿部	2
2	門井	〔審・佐藤	島脇	0
0	飯野	真嶋〕	日高	1
0	古矢		小森	0
1	山下		小牧	0
1	高橋		茶木	0
1	小谷内		広瀬	2
15	(1)	PT	(2)	11

熊毛北25（13—4、12—10）14 新潟江南

〔戦評〕開始早々、熊毛北はクロスから末弘が先制、その後もサイド、ポスト、速攻などで着々と加

点していった。一方新潟江南は、神林、宇井のロングシュートを中心に攻撃を試みたが、熊毛北のGK西本の好守や堅いディフェンス陣に阻まれ、前半で一方的な試合展開となった。
　後半に入っても熊毛北は息の合ったコンビプレーで得点を重ね、新潟江南も中盤から互角の展開を見せたが、前半の点差が大きく、敗れ去った。

〔江南〕	得		〔熊毛北〕	得
永井	0	GK	松村	0
今泉	0	GK	西本	0
磯部	2	FP	白木	8
須貝	2	FP	末弘	4
野沢	0	FP	植田	5
宇井	2	FP	中野	2
神林	5	FP	中尾	1
渋谷	0	FP	藤井	3
坂上	3	FP	南	2
五十嵐	0	FP	栗山	0
結城	0	FP	山田	0
長谷川	0	FP	河崎	0
14	(2)	PT	(2)	25

（審・島崎・井上）

昭和学院 14（4—7、10—4）11 読谷

〔戦評〕立ち上がり読谷はポストなどで2—0とリード。昭和学院もポストとPTで2—2と追いつくが、読谷も再び突き放し、7—4とリードして前半を折り返す。
　後半、昭和は鳥海のサイド、中村のカットインなどで追い上げ、10分に9—9と追いつき、その後一気に中村の連続得点で逆転、勝負を決した。

〔読谷〕	得		〔昭和〕	得
松田ゆ	0	GK	時田	0
松田紀	0	GK		
松田直	2	FP	鳥海	2
冨着	5	FP	中村	7
比嘉	1	FP	村越	0
新垣み	0	FP	田上	1
池原	0	FP	林	0
大城	2	FP	大野	0
新垣直	0	FP	竹田	3
山城	0	FP	舘下	0
池宮城	0	FP	福永	0
松田紀	1	FP	山田	1
11	(1)	PT	(2)	14

（審・大塚・額田）

小松商 24（15—1、9—4）5 佐世保北

〔戦評〕前半立ち上がりからスピードに勝る小松商が前半23分まで佐世保北を無得点に押さえる。その間、小松商は河原の速攻、東のロングシュートなどで着実に得点を重ねた。
　後半も15まで小松商の一方的なゲーム展開。佐世保北も終盤、最後のがんばりを見せるが、24—5と大差で小松商が制した。

〔佐世保北〕	得		〔小松商〕	得
前川	0	GK	馬場	0
久保田	0	GK	宇野	0
赤木	0	FP	畠中	2
大坪	2	FP	河原	4
松山	0	FP	角	4
森田	1	FP	田島	1
田中	1	FP	米田	1
副島	1	FP	西木	0
久保陽	0	FP	東	9
富岡	0	FP	藤田	1
山添	0	FP	清水	2
		FP	山口	0
5	(0)	PT	(3)	24

（審・片岡・清水）

熊本女商 12（5—7、7—4）11 彦根商

〔戦評〕前半、両チームともに速いパス展開からのブロックプレー、ポストシュートと時間をかけての攻撃でロースコアーの試合となった。彦根商の中央からのロングシュートが前半の点差となった。
　後半に入って流れが変わり、彦根商の攻撃が消極的となり、15分過ぎに10—9と逆転した。熊本女商は相手パスミスに乗じての走りでせり勝ち、1点差を守って逃げ切った。

〔彦根商〕	得		〔熊本女商〕	得
川崎	0	GK	城下	0
北川	0	GK	岩本	0
吉本	4	FP	高洲	0
山尾	4	FP	杉本	0
浅居	1	FP	白坂	2
井出	1	FP	山田	2
林	0	FP	田中	4
安藤	0	FP	鶴田	4
松山	1	FP	高橋	0
馬場	0	FP	田中	0
向田	0	FP	浜	0
森	0	FP	森下	0
11	(2)	PT	(5)	12

（審・長井・加藤）

宣　真 18（5—2、13—6）8 和　泉

〔戦評〕両チームとも手のうちを探ろうとセット攻撃を中心にゲームを運ぶ。前半5分、PTを得て宣真が先制したが、和泉もマイペースでゲームを運び、両チームともにゲームの〝流れ〟を握れずにロースコアーで前半を終了。
　後半に入っても、両チームともにスローペースでセット攻撃を中心にゲームを展開、確実に得点を重ねた宣真が勝利を収めた。

〔和泉〕	得		〔宣真〕	得
本間	0	GK	辻	0
小山	0	GK	上田	0
木暮	2	FP	荒川	5
山下	0	FP	日野	2
松永	0	FP	長藤	0
石井	0	FP	木口	1
吉田	0	FP	田代	0
中山	0	FP	中尾	2
森谷	6	FP	中里	0
国府田	0	FP	中井	4
芳賀	0	FP	稲次	4
兼頭	0	FP	関	0
8	(4)	PT	(4)	18

（審・岡本・中川）

名短付 27（12—4、15—8）12 西宇治

〔戦評〕前半、お互いにパスミス、シュートミスの多いなか、スピードと力で一枚上の名短付が、速攻、ポストプレー、ブロックプレーで着実に得点を加え、前半で12—4として勝負を決める。
　後半に入っても流れは変わらず名短付が塩田らを中心に着々と加点、西宇治も懸命に反撃を見せるが、名短付GK柴田の好守に阻まれることもあり散発に終わってしまった。

〔西宇治〕	得		〔名短附〕	得
内田	0	GK	柴田	0
仲間	0	GK	平山	0
大澤	4	FP	飯田雅	6
國領	0	FP	塩田	9
井月	1	FP	合田	5
卯路	2	FP	中田	0
内山	1	FP	山田	2
和田	1	FP	飯田和	4
高木	1	FP	武藤	1
笹部	0	FP	鈴木	0
小山	2	FP	加藤	0
金森	0	FP	川口	0
12	(2)	PT	(4)	27

（審・佐藤・鎌田）

準々決勝

夙川学院 17（7—6、10—3）9 水海道二

〔戦評〕前半開始早々、水海道二ら八十岡のカットインで先制、固さの見られる夙川を5分には3—

1とリードする。しかし、夙川・江崎のシュートが決まりだし水海道二・内藤の退場もあって7―6で逆転して前半を終る。

後半、開始から夙川ら7点を連取して一気に勝負を決めた。水海道二も必死に反撃するものの、夙川GK松田の好守に阻まれ、加点できず敗れ去った。

〔水海道二〕	得		〔夙川〕	得
吉田	0	GK	松田	0
柴	0	GK	平塚	0
横田	1	FP	伊藤	3
内藤	0	FP	西口	4
八十岡	3	FP	新村	0
山本	1	FP	大林	2
門井	0	FP	田渕	0
飯野	0	FP	田口	0
古矢	0	FP	岡	1
山下	3	FP	戸高	0
高橋	1	FP	江崎	6
小谷内	0	FP	巽	1
(2)	9	PT	17	(1)

〔審・大河原、守屋〕

昭和学院 18 （7―6、5―6、3―2、3―3） 17 熊毛北

〔戦評〕前半立ち上がり、昭和学院が先取点をあげるが、熊毛北も粘りを見せてシーソーゲームとなる。お互いに得点をなかなか得られず、7―6で前半を終了。

後半10分までは昭和が徐々に得点を重ね、熊毛北を離すが、動きが鈍くなった昭和に対して熊毛北が22分に同点として延長戦となる。

延長戦でも激しい攻防に1点を争う好ゲームとなる。結局せり勝った昭和が18―17で勝利を収めた。

〔熊毛北〕	得		〔昭和〕	得
松村	0	GK	時田	0
西本	0	GK		
白木	3	FP	鳥海	1
末弘	3	FP	福田	0
植田	7	FP	中村	9
中野	1	FP	村越	1
中尾	1	FP	田上	2
藤井	2	FP	林	0
南	0	FP	大野	0
栗山	0	FP	竹田	4
山田	0	FP	舘下	0
河崎	0	FP	山田	1
(3)	17	PT	18	(3)

〔審・岡本、中川〕

熊本女商 16 （5―8、8―5、1―2、2―0） 15 小松商

〔戦評〕両チームともスピードがあり、立ち上がりから15分頃まで互角の戦いであった。16分過ぎから小松商・角、清水の速攻などが決まりリードを奪う。8―5と小松商がリードして前半を終了。

後半に入って熊本女商が追い上げ、後半22分、杉本のシュートで同点にする。終了1分前に熊本女商がPTを得たが、小松商GKの馬場が死守、延長戦にもつれ込んだ。

延長に入っても両者譲らず、後半、熊本女商が相手退場の時、杉本がサイドシュートを決めそのまま逃げ切った。

〔小松商〕	得		〔熊本女商〕	得
馬場	0	GK	城下	0
宇野	0	GK	岩本	0
畠中	0	FP	高洲	0
河原	1	FP	杉本	3
角	5	FP	白坂	2
田島	1	FP	山田	2
米田	0	FP	田中	3
西木	0	FP	鶴田	5
東	5	FP	高橋	0
清水	3	FP	田中	0
山口	0	FP	浜	0
西川	0	FP	森下	0
(1)	15	PT	16	(4)

〔審・島崎、井上〕

名短付 11 （7―4、4―5） 9 宣真

〔戦評〕前半立ち上がり両チームともに速い攻撃を見せるが、宣真に速攻ミスが連続してでてリズムを崩す。その間名短付・塩田のロングシュートが決まり、前半7―4と名短付がリードする。

後半、宣真は連続して得点をあげ1点差まで追い上げるが、PTをはずすなどミスが目立ち、同点にすることができない。一方名短付はGK柴田の好守とディフェンスで宣真の攻撃を食い止め、逃げ切った。

〔宣真〕	得		〔名短附〕	得
辻	0	GK	柴田	0
上田	0	GK	平山	0
荒川	1	FP	飯田雅	3
日野	1	FP	塩田	6
長藤	0	FP	合田	2
木口	3	FP	中田	0
田代	0	FP	山田	0
中尾	3	FP	飯田和	0
中里	0	FP	武藤	0
中井	1	FP	鈴木	0
稲次	0	FP	加藤	0
関	0	FP	川口	0
(0)	9	PT	11	(1)

〔審・野中、竹村〕

準決勝、夙川学院対昭和学院

準決勝

夙川学院 18（10－7、4－7、2－1、2－2）17 昭和学院

〔戦評〕夙川は西口のカットインと相手ミスからの速攻でリードを奪うが、昭和も夙川の高いディフェンスに苦しみながらも両サイドとポスト攻撃で対抗し、前半は夙川の3点リードで終了。

後半に入り、昭和は夙川が退場者を出す間に確実に加点し、遂に同点に追いついて延長戦に。

延長に入って、夙川は大林、岡の連続速攻でリードを奪い、粘る昭和を突き放した。

〔昭和〕	得		〔夙川〕	得
時田	0	GK	松田	0
		GK	平塚	0
鳥海	3	FP	伊藤	2
中村	7	FP	西口	6
村越	1	FP	新村	0
田上	0	FP	大林	5
林	0	FP	田渕	0
大野	0	FP	田口	0
竹田	2	FP	岡	1
舘下	0	FP	戸高	0
福永	0	FP	江崎	2
山口	4	FP	巽	2
17	(3)	PT	18	(1)

（審・竹村・野中）

名短付 17（8－10、9－5）15 熊本女商

〔戦評〕前半、熊本女商・田中の活躍で15分過ぎには3点リードする。しかし、名短付もキャプテン飯田が懸命に反撃、2点差として前半を折り返す。

後半に入ると、名短付の追い上げが激しく、13分に同点とする。しかし、熊本女商も鶴田のシュートで再び引き離しにかかるが、19分には再度同点、最後は名短付の塩田が連続得点して逆転勝ちした。

〔熊本女商〕	得		〔名短附〕	得
城下	0	GK	柴田	0
岩本	0	GK	平山	0
高洲	1	FP	飯田雅	5
杉本	1	FP	塩田	5
白坂	1	FP	合田	5
山田	3	FP	中田	0
田中	6	FP	山田	0
鶴田	2	FP	飯田	2
高橋	0	FP	武藤	0
田中	0	FP	鈴木	0
浜	0	FP	加藤	0
森下	1	FP	川口	0
15	(2)	PT	17	(1)

（審・岡本・中川）

準決勝、名短付対熊本女商

決勝

名短付 15（5－3、4－6、0－1、2－1、2－2、2－0）13 夙川学院

〔戦評〕前半は両チームとも動きが固く、キャッチミスや単調なシュートが多くロースコアーのゲームとなったが、ポイントゲッター江崎の調子が今一つ悪い夙川を名短付が一歩リードして前半を折り返した。

後半、夙川は西口が4得点をあげるなどで反撃、同点として延長戦へ突入した。第一延長、立ち上がり3分、夙川・西口のミドルシュートが決まり逃げ切るかと思われたが、終了間際に塩田ポストで名短付が追いつき再度延長戦に。第二延長の後半、名短付は合田のポストでの2得点で辛くも夙川を振り切った。

決勝、名短付対夙川学院

〔夙川〕	得		〔名短附〕	得
松田	0	GK	柴田	0
平塚	0	GK	平山	0
伊藤	3	FP	飯田雅	3
西口	5	FP	塩田	5
新村	0	FP	合田	4
大林	2	FP	中田	0
田渕	0	FP	山田	0
田口	0	FP	飯田和	2
岡	2	FP	武藤	1
戸高	0	FP	鈴木	0
江崎	1	FP	加藤	0
巽	0	FP	川口	0
13	(1)	PT	15	(2)

（審・北井・上久保）

各地の記録から・・・

東北

第42回東北高校選手権
（6月23日～25日／青森県民体育館）

〈男子〉

▼1回戦
- 青森商（青森）26—22 花巻北（岩手）
- 古川工（宮城）21—18 山形工（山形）
- 聖光学院（福島）28—25 野辺地（青森）
- 羽後（秋田）23—21 北村山（山形）

▼2回戦
- 青森商 21—19 学法石川（福島）
- 湯沢（秋田）29—15 古川工
- 盛岡一（岩手）21—16 聖光学院
- 仙台育英（宮城）23—19 羽後

▼準決勝
- 青森商 23（13—13、10—3）16 湯沢
- 盛岡一 21（10—6、11—8）14 仙台育英

▼決勝
- 盛岡一 23（10—6、13—11）17 青森商

〈女子〉

▼1回戦
- 青森中央（青森）17—16 古川商（宮城）
- 緑が丘（福島）21—14 日大山形（山形）
- 青森西（青森）20—11 花巻北（岩手）
- 北村山（山形）22—11 秋田和洋女（秋田）

▼2回戦
- 大曲農（秋田）29—11 青森中央
- 日大山形 23—11 盛岡二（岩手）
- 青森西 20—17 本宮（福島）
- 聖和学園（宮城）24—11 北村山

▼準決勝
- 大曲農 26（15—3、11—8）11 日大山形
- 聖和学園 19（13—7、6—5）12 青森西

▼決勝
- 大曲農 22（12—12、10—9）21 聖和学園

国体山形県予選
（6月30日～7月2日／東根市民体育館ほか）

〈成年男子〉

▼1回戦
- 尾花沢クラブ 23—22 東根クラブ

▼準決勝
- 山形新球会 51—8 尾花沢クラブ
- 山形航空電子 32—15 矢作会

▼決勝
- 山形新球会 34（17—11、17—11）22 山形航空電子

〈成年女子〉

▼1回戦
- 米沢女OG会 49—8 ひまわり保育園
- 桜華クラブ 23—21 山形女子教員

▼3位決定戦
- 山形女子教員 54—1 ひまわり保育園

▼決勝
- 米沢女子OG会 29（16—10、13—9）19 桜華クラブ

〈少年男子〉

▼1回戦
- 新庄工高 26—8 山形東高

▼2回戦
- 北村山高 28—9 新庄工高
- 真室川高 23—14 山本学園高
- 東根工高 30—22 山形工高
- 日大山形高 25—8 寒河江工高

▼準決勝
- 北村山高 22—9 真室川高
- 日大山形高 20—14 東根工高

▼決勝
- 北村山高 21（11—4、10—8）12 日大山形高

〈少年女子〉

▼1回戦
- 日大山形高 28—9 米沢女高
- 北村山高 36—3 山本学園高

▼3位決定戦
- 米沢女高 9—8 山本学園高

▼決勝
- 北村山高 16（9—8、7—3）11 日大山形高

第41回岩手県民体育大会
（7月8日～10日／岩手大グランド他）

〈少年男子〉

▼1回戦
- 宮古高 27—11 山田高
- 一関工高 22—20 花巻農高
- 福岡高 14—13 一関第一高
- 西和賀高 24—10 久慈高
- 不来方高 21—2 福岡工高
- 大迫高 18—7 水沢高

▼2回戦
- 盛岡第一高 34—6 宮古高
- 一関工高 21—10 岩手高
- 盛岡第三高 22—18 釜石南高
- 盛岡第四高 32—14 福岡高
- 盛岡商高 29—8 西和賀高
- 盛岡南高 26—9 生活学園高
- 久慈高山形分 15—12 不来方高
- 花巻北高 16—13 大迫高

▼3回戦
- 盛岡第一高 30—9 一関工高
- 盛岡第三高 25—17 盛岡第四高
- 盛岡商高 28—14 盛岡南高
- 花巻北高 20—4 久慈高山形分

▼準決勝
- 盛岡第一高 23—13 盛岡第三高
- 盛岡商高 19—13 花巻北高

▼決勝
- 盛岡第一高 24（13—8、11—8）16 花巻北高

〈少年女子〉

▼1回戦
- 岩手女高 18—1 宮古高

▼2回戦
- 盛岡第二高 18—5 岩手女高
- 一戸高 17—7 水沢高
- 盛岡南高 24—10 平舘高
- 黒沢尻南高 17—2 盛岡第四高
- 花巻南高 21—4 白百合学園高
- 釜石南高 17—5 向中野学園高
- 花巻農高 10—3 釜石商高
- 花巻北高 17—5 久慈高山形分

▼3回戦
- 盛岡第二高 19—6 一戸高
- 黒沢尻南高 16—7 盛岡南高
- 花巻南高 15—3 釜石南高
- 花巻北高 9—1 花巻農高

▼準決勝
- 盛岡第二高 24—9 黒沢尻南高
- 花巻南高 11—9 花巻北高

▼決勝
- 盛岡第二高 15（5—3、10—5）8 花巻南高

〈成年男子一部〉

▼リーグ戦
- 岩手大 26—17 白堊ク
- 花巻ク 27—15 岩手大
- 花巻ク 24—21 白堊ク

〔順位〕①花巻クラブ ②岩手大学 ③白堊クラブ

〈成年男子二部〉

▼1回戦
鵬　ク　24－17　花巻送球会
岩手医科大　22－14　一関工専
30－15　日立水沢
岩　手　30－15　日立水沢
フェザントク　29－14　自衛隊
石桜サブク　30－10　欅　ク
盛南リフレッシュスポーツク

▼2回戦
盛岡商友会　32－11　鵬　ク
岩　手　26－24　岩手医科大
フェザントク
岩手教員ク　27－11　石桜サブク
志　高　ク　35－13　盛南リフレッシュスポーツク

▼準決勝
盛岡商友会　29－20　岩　手
志　高　ク　28－23　岩手教員ク
フェザントク

▼決勝
盛岡商友会　35－32　志　高　ク

〈成年女子〉
▼1回戦
岩手大　17－9　花巻ク
ギャロップ　30－3　野の花ク
レディースク

▼準決勝
白梅三英芙会　32－12　岩手大
ギャロップ　11－10　岩手桐花ク
レディースク

▼決勝
白梅三英芙会　27（14－6、13－6）12　ギャロップレディースク

関東

関東高校千葉県予選

（日程、場所不明）

〈男子〉

○第1ブロック予選
京　葉　14－13　木更津
市　原　16－7　鶴舞商
房総学園　13－9　拓大紅陵
京　葉　23－8　鶴舞商
木更津　19－11　房総学園
拓大紅陵　18－5　市　原
木更津　18－14　房総学園
京　葉　21－14　房総学園
木更津　14－10　市　原
拓大紅陵　7－7　京　葉
房総学園　20－8　鶴舞商
京　葉　14－12　市　原
拓大紅陵　8－7　木更津
房総学園　13－10　市　原
拓大紅陵　20－9　鶴舞商
〔順位〕①拓大紅陵②木更津③京葉④市原⑤鶴舞商

○第2ブロック予選
八千代　22－6　秀明八千代
佐　原　29－4　四街道
佐　原　25－10　秀明八千代
八千代　26－5　四街道
佐　原　11－10　八千代
秀明八千代　23－5　四街道
〔順位〕①佐原②八千代③秀明八千代④四街道

○第3ブロック
土　気　17－12　千葉南
生　浜　16－15　千葉南
泉　21－13　若　松
土　気　23－7　若　松
泉　18－14　生　浜
千葉南　20－10　若　松
土　気　23－10　生　浜
泉　23－9　千葉南
生　浜　13－12　若　松
土　気　18－15　泉
〔順位〕①土気②泉③生浜④千葉南⑤若松

○第4ブロック予選Aリーグ
幕張北　14－9　船橋西
幕張北　20－14　船橋旭
幕張北　18－10　渋谷幕張
船橋西　18－13　船橋旭
船橋西　17－14　渋谷幕張
船橋旭　15－13　渋谷幕張
〔順位〕①幕張北②船橋西③船橋旭④渋谷幕張

○第4ブロック予選Bリーグ
船橋法典　16－10　船橋東
船橋法典　20－0　鎌ケ谷
船橋東　10－6　鎌ケ谷
〔順位〕①船橋法典②船橋東③鎌ケ谷

○第4ブロック代表決定戦
幕張北　12－11　船橋東
船橋法典　13－12　船橋西
幕張北　13－12　船橋法典

○第5ブロック予選
二松沼南　19－11　県沼南
二松沼南　14－9　柏
二松沼南　31－0　我孫子高柳
二松沼南　12－0　沼南高柳
県沼南　19－17　柏
県沼南　25－13　我孫子
県沼南　12－0　沼南高柳
柏　20－13　我孫子
柏　12－0　沼南高柳
我孫子　12－0　沼南高柳
〔順位〕①二松沼南②県沼南③柏④我孫子⑤沼南高柳

○第6ブロック予選Aリーグ
柏　陵　19－13　清　水
柏　陵　25－12　東葛飾
東葛飾　22－12　清　水

○第6ブロック予選Bリーグ
柏　南　20－17　流山中央
柏　南　19－10　芝浦工大
流山中央　23－10　芝浦工大

○第6ブロック1回戦
流山中央　25－6　清　水
芝浦工大　16－8　東葛飾
東葛飾　16－12　芝浦工大

○第6ブロック2回戦
流山中央　22－16　柏　陵
柏　南　21－9　芝浦工大

○第6ブロック決勝
柏　南　24－9　流山中央

○第7ブロック1回戦
小　金　不戦勝　専大松戸
国府台　27－12　市立松戸

○第7ブロック決勝
小　金　26－22　国府台

○第8ブロック予選
市川西　15－11　浦安南
東京学館浦安　27－6　国　分
浦安南　21－11　国　分
東京学館浦安　35－13　市川西
東京学館浦安　33－8　浦安南
市川西　23－14　国　分
〔順位〕①東京学館浦安②市川西③浦安南④国分

▼県予選1回戦
市　川　31－10　木更津
柏　南　22－13　土　気
佐　原　18－17　小　金
松戸六実　18－12　泉
東　邦　17－4　拓大紅陵
東京学館浦安　26－14　船橋法典
二松沼南　22－12　幕張北
東京学館　33－14　流山中央

▼同2回戦
市　川　21－14　柏　南
佐　原　19－11　松戸六実
東　邦　18－14　東京学館浦安
東京学館　19－15　二松沼南

▼準決勝
市　川　24－4　佐　原
東　邦　18－8　東京学館

▼3位決定戦
東京学館　21－9　佐　原

▼決勝
市　川　15（7－3、8－8）11　東　邦

〈女子〉

○第1ブロック予選
御宿家政　19－7　東金女

○第2ブロック予選
佐原女　24－11　四街道
佐原女　27－3　四街道
佐原女　13－6　佐　原
佐原女　19－10　佐　原
佐　原　29－3　四街道
佐　原　16－4　四街道
〔順位〕①佐原女②佐原③四街道

○第3ブロック予選

若松 22－7 泉
土気 11－3 生浜
生浜 16－7 泉
土気 22－8 泉
若松 18－13 土気
若松 15－7 生浜
〔順位〕①若松②土気③生浜④泉

○第4ブロック予選
東邦 22－2 若葉看護
東邦 13－4 幕張北
東邦 23－0 渋谷幕張
若葉看護 12－9 幕張北
若葉看護 13－2 渋谷幕張
幕張北 21－7 渋谷幕張
〔順位〕①東邦②若葉看護③幕張北④渋谷幕張

○第6ブロック予選
柏南 14－11 流山中央
流山中央 24－5 東葛飾
柏南 13－10 流山中央
柏南 15－4 東葛飾
流山中央 16－15 東葛飾
〔順位〕①柏南②流山中央③東葛飾

○第7ブロック予選
松戸六実 不戦勝 専大松戸
聖徳 18－12 松戸秋山
聖徳 22－5 松戸六実
〔順位〕①聖徳②松戸秋山③松戸六実

▼県予選1回戦
昭和学院 27－4 柏南
佐原女 14－9 御宿家政
東邦 19－9 聖徳
和洋 37－8 若松

▼準決勝
昭和学院 32－11 佐原女
和洋 11－7 東邦

▼3位決定戦
東邦 11－7 佐原女

▼決勝
昭和学院 19（11－6、8－7）13 東邦

千葉県高校総体

○第1ブロック予選
（日程、場所不明）

◇Aリーグ
木更津 28－9 鶴舞商
京葉 31－5 鶴舞商
京葉 24－15 木更津

◇Bリーグ
市原 21－11 房総
拓大紅陵 18－12 市原
房総 24－21 拓大紅陵

◇順位決定戦
木更津 19－17 房総
拓大紅陵 32－4 鶴舞商
京葉 21－12 市原
房総 38－9 鶴舞商
拓大紅陵 29－14 木更津

○第2ブロック
八千代 23－6 秀明八千代
八千代 36－4 四街道
秀明八千代 24－17 四街道

○第3ブロック
泉 16－11 千葉南
若松 17－13 生浜
土気 20－12 千葉南
泉 17－16 若松
土気 25－15 生浜
千葉南 16－11 生浜
土気 29－14 若松
泉 15－8 生浜
若松 15－14 千葉南
土気 21－12 泉

○第4ブロック

◇Aリーグ
幕張北 24－9 鎌ケ谷
幕張北 21－6 渋谷幕張
幕張北 13－7 船橋東
渋谷幕張 6－5 船橋東
渋谷幕張 21－7 鎌ケ谷
船橋東 17－9 鎌ケ谷

◇Bリーグ
船橋法典 24－8 船橋旭
船橋旭 12－11 船橋西
船橋法典 19－3 船橋西

◇順位決定戦
船橋法典 14－8 幕張北
船橋西 16－10 渋谷幕張
船橋旭 15－10 船橋東
船橋旭 19－8 渋谷幕張
船橋西 11－2 船橋東

○第5ブロック
柏 27－15 沼南高柳
柏 21－12 我孫子
柏 21－15 県沼南
県沼南 26－17 我孫子
県沼南 42－14 沼南高柳
我孫子 34－17 沼南高柳

○第6ブロック
流山中央 28－20 東葛飾
芝浦工柏 23－17 柏陵
東葛飾 24－19 清水
柏陵 18－18 流山中央
芝浦工柏 23－15 清水
流山中央 30－14 清水
柏陵 23－20 東葛飾
流山中央 22－16 芝浦工柏
柏陵 22－16 清水
芝浦工柏 27－18 東葛飾

○第7ブロック
国府台 22－12 市立松戸
小金 19－6 松戸秋山
小金 17－14 市立松戸
国府台 26－4 松戸秋山
市立松戸 18－9 松戸秋山
国府台 19－16 小金

○第8ブロック
浦安南 16－13 市川西
浦安南 18－11 国分
市川西 18－15 国分

■県大会

〈男子〉

▼1回戦
市川 26－3 拓大紅陵
八千代 11－9 船橋西
幕張北 14－12 京葉
二松沼南 21－10 柏陵
東京学館浦安 27－6 渋谷幕張
若松 15－11 柏
土気 21－12 市原
佐原 24－11 国分
東京学館 28－7 市川西
国府台 20－18 県沼南
浦安南 11－9 小金
芝浦工柏 18－12 松戸六実
柏南 22－11 泉
船橋法典 37－6 四街道
流山中央 25－11 船橋旭
東邦 32－5 秀明八千代

▼2回戦
市川 19－9 八千代
二松沼南 24－5 幕張北
東京学館浦安 29－10 若松
土気 20－14 佐原
東京学館 28－15 国府台
芝浦工柏 21－5 浦安南
柏南 18－13 船橋法典
東邦 22－9 流山中央

▼3回戦
市川 22－15 二松沼南
東京学館浦安 32－18 土気
東京学館 28－12 芝浦工柏
東邦 21－12 柏南

▼準決勝
市川 22－18 東京学館浦安
東邦 18－13 東京学館

▼決勝
市川 25（15－5、10－8）13 東邦

〈女子〉

▼1回戦
若葉看護 27－1 市立松戸
土気 16－12 佐原
幕張北 17－7 泉
生浜 26－5 東葛飾
四街道 10－5 松戸六実
流山中央 23－5 東金女

▼2回戦
昭和 24－4 若葉看護
土気 13－11 聖徳学園
若松 10－9 松戸秋山
佐原女 16－9 幕張北
東邦 16－8 生浜
御宿家政 18－5 専大松戸
柏南 23－4 四街道
和洋 22－8 流山中央

▼3回戦

昭和 37－3 土気
佐原女 19－7 若松
東邦 30－7 御宿家政
和洋 31－10 柏南

▼準決勝
昭和 23－15 佐原女
和洋 17－15 東邦

▼決勝
昭和 15（2－3、8－7、2－1、3－1）12 和洋

全国高校総体茨城県予選

（6月17～19日／笠間高校）

〈男子〉

▼1回戦
水海道一 34－3 日立一
太田一 23－15 竜ケ崎南
麻生 26－9 水戸一
笠間 25－12 土浦湖北
岩井 17－14 伊奈
竜ケ崎一 36－19 鉾田一
江戸川学園 20－11 土浦工
土浦日大 35－9 玉造工

▼2回戦
水海道一 27－18 太田一
笠間 21－20 麻生
岩井 22－21 竜ケ崎一
土浦日大 21－14 江戸川学園

▼準決勝
水海道一 22－16 笠間
土浦日大 28－15 岩井

▼決勝
水海道一 20（8－12、12－7）19 土浦日大

〈女子〉

▼1回戦
水海道二 32－3 竜ケ崎南
水海道一 28－11 日立二
岩井 32－2 土浦二
聖徳学園 28－17 高萩
麻生 45－4 水戸二
潮来 15－13 竜ケ崎一
竜ケ崎二 37－3 磯原
愛国学園 35－20 藤代紫水

▼2回戦
水海道二 29－12 水海道一
岩井 21－16 聖徳学園
麻生 22－9 潮来
竜ケ崎二 16－10 愛国学園

▼準決勝
水海道二 23－12 岩井
麻生 14－9 竜ケ崎二

▼決勝
水海道二 18（10－7、8－7）14 麻生

国体東京都予選

（7月8～10日／JUKI体育館）

〈男子1部〉

▼1回戦
中村荷役 30－12 東京教員
三陽商会 23－22 三景

▼決勝
三陽商会 26－21 中村荷役

〈男子2部〉

▼1回戦
東立川 28－6 東京体育ク
中大白球会 キケン 芝浦
ラージェスト 30－11 警視庁
桜門ク 18－12 JUKI

▼2回戦
神楽坂会 32－20 東立川
中大白球会 34－21 中大付属OB
ラージェスト 33－18 三崎ク
桜門ク 31－23 三景

▼準決勝
中大白球会 23－21 神楽坂会
桜門ク 30－20 ラージェスト

▼決勝
桜門ク 48－27 中大白球会

〈女子〉

▼決勝
JUKI 47－10 武蔵野ク

東海

第36回東海高校総体

（6月24・25日／四日市中央緑地体育館）

〈男子〉

▼1回戦
岡崎城西（愛知）23－19 桑名西（三重）
清水市商（静岡）21－19 岐阜西工（岐阜）
四日市工（三重）28－18 静岡南（静岡）
市岐阜商（岐阜）19－12 桜台（愛知）

▼2回戦
岡崎城西 24－20 清水市商
四日市工 16－15 市岐阜商

▼3位決定戦
清水市商 19（9－5、6－10、1－0、3－3）18 市岐阜商

▼決勝
岡崎城西 19（10－9、9－7）16 四日市工

〈女子〉

▼1回戦
名短大付（愛知）31－7 津東（三重）
清水市商（静岡）30－16 養老女商（岐阜）
暁（三重）21－10 本巣（岐阜）
静岡城北（静岡）17－15 三好（愛知）

▼2回戦
名短大付 23－12 清水市商
静岡城北 15－14 暁

▼3位決定戦
清水市商 21（8－8、13－9）17 暁

▼決勝
名短大付 21（10－5、11－6）11 静岡城北

近畿

全国高校奈良県予選

（6月10、11、17日／生駒市総合体育館）

〈男子〉

▼1回戦
郡山 13－8 畝傍
高田東 20－14 上牧
橿原 14－12 信貴ケ丘

▼2回戦
正強 31－3 郡山
広陵 17－11 片桐
斑鳩 40－4 桜井商
添上 28－10 天理富雄
生駒 20－17 高田東
富雄 16－10 一条
東大寺 16－11 奈良工
奈良 26－14 橿原

▼3回戦
正強 32－7 広陵
添上 25－12 斑鳩
生駒 16－15 富雄
奈良 20－8 東大寺

▼準決勝
正強 19－11 添上
生駒 21－19 奈良

▼決勝
正強 19（8－2、11－7）9 生駒

〈女子〉

▼1回戦
短大付 19－2 桜井商
添上 35－0 橿原
郡山 13－4 片桐
一条 20－0 上牧

▼2回戦
白藤 27－9 短大付
添上 37－5 十津川
郡山 10－4 富雄
生駒 17－4 一条

▼準決勝
添上 16－5 白藤
郡山 13－9 生駒

▼決勝
添上 12 (4-2, 8-5) 7 郡山

全国高校京都府予選
（6月3～25日／光華商校ほか）

〈男子〉

▼1回戦
田辺 18-14 南八幡
桃山 15-14 山城
東山 29-7 洛陽工
木津 14-12 西乙訓
同志社 25-9 成章
乙訓 18-16 堀川

▼2回戦
桂 33-7 田辺
平安 17-16 嵯峨野
北稜 20-16 洛水
東稜 21-13 桃山
西宇治 28-4 洛東
城南 21-10 塔南
城陽 27-8 鴨沂
京都西 28-11 東山
北嵯峨 30-9 木津
久御山 19-11 日吉丘
京都商 30-9 宇治
東宇治 36-2 両洋
大谷 30-3 同志社
洛西 12-9 向陽
洛西 21-14 伏見工
洛北 15-9 乙訓

▼3回戦
桂 31-11 平安
東稜 18-12 北稜
西宇治 11-8 城南
京都西 31-14 城陽
北嵯峨 22-3 久御山
東宇治 26-21 京都商
大谷 20-18 洛西
洛北 31-9 洛星

▼4回戦
桂 36-8 東稜
京都西 24-16 西宇治
北嵯峨 17-12 東宇治
大谷 20-12 洛北

▼準決勝
桂 23-11 京都西
北嵯峨 15-12 大谷

▼3位決定戦
大谷 19-13 京都西

▼決勝
桂 20 (8-8, 12-8) 16 北嵯峨

〈女子〉

▼1回戦
嵯峨野 12-7 城南
精華 20-9 日吉丘
北嵯峨 13-9 明徳商
光華 20-8 山城
西山 21-6 塔南
洛東 11-7 鴨沂
洛北 19-11 西乙訓
京都女 25-3 西京商
南八幡 14-7 城陽
洛水 22-11 田辺
桃山 13-12 洛西
向陽 15-9 東稜
北稜 24-6 京都商
桂 17-7 乙訓

▼2回戦
西宇治 22-2 嵯峨野
北嵯峨 13-3 精華
光華 10-9 西山
洛北 17-2 洛東
京都女 29-2 南八幡
洛水 13-12 桃山
向陽 13-5 北稜
東宇治 25-2 桂

▼3回戦
西宇治 27-2 北嵯峨
洛北 10-5 光華
京都女 14-8 洛水
東宇治 16-7 向陽

▼準決勝
西宇治 12-8 洛水
東宇治 16-13 京都女

▼3位決定戦
京都女 11-9 洛北

▼決勝
西宇治 10 (4-4, 6-5) 9 東宇治

九州

全九州学生選手権
（日程、場所不明）

〈男子〉

▼予選リーグ

○Aブロック
福教大 17-16 熊本大
福教大 12-0 熊本工大
熊本大 12-0 熊本工大

○Bブロック
福岡大 38-13 西南学院大
福岡大 32-12 熊本商大
西南学院大 25-14 熊本商大

○Cブロック
九州産大 17-15 宮崎大
九州産大 19-16 久留米工大
宮崎大 25-17 久留米工大

○Dブロック
鹿児島大 13-12 大分大
鹿児島大 26-15 第一工大
鹿児島大 17-8 鹿児島経大
大分大 28-10 第一工大
大分大 21-12 鹿児島経大
第一工大 24-23 鹿児島経大

○Eブロック
東和大 27-22 沖縄国際大
東和大 28-14 琉球大
東和大 24-16 長崎総合科学大
沖縄国際大 18-14 琉球大
沖縄国際大 29-25 長崎総合科学大
琉球大 23-20 長崎総合科学大

○Fブロック
鹿屋体大 29-18 長崎大
鹿屋体大 16-16 九州大
鹿屋体大 45-26 西日本工大
長崎大 25-12 九州大
長崎大 23-17 西日本工大
九州大 38-17 西日本工大

▼決勝トーナメント1回戦
福岡教育大 33-13 鹿屋体育大
東和大 28-11 鹿児島

▼2回戦
福岡大 27-12 福岡教育大
東和大 34-15 九州産業大

▼3位決定戦
福岡教育大 20-16 九州産業大

▼決勝
福岡大 29 (19-9, 10-9) 18 東和大

〈女子〉

▼予選リーグ

○Aブロック
福岡大 37-4 長崎大
福岡大 27-11 鹿児島大
長崎大 16-10 鹿児島大

○Bブロック
福教大 18-16 九州女大
福教大 28-13 琉球大
福教大 21-16 沖縄国際大
九州女大 19-13 琉球大
九州女大 33-10 沖縄国際大
琉球大 16-10 沖縄国際大

▼決勝リーグ
福岡大 26-14 福岡教育大
福岡大 22-21 九州女大
福岡教育大 28-14 長崎大
九州女大 27-8 長崎大

〔順位〕①福岡大②福岡教育大③九州女子大④長崎大

オリンピックソリダリティ――講習会報告

指導方法委員会

IOC公認のソリダリティ講習会が、IHF（国際ハンドボール連盟）・CCM（指導方法委員会）メンバーズのムラッツ氏（チェコスロバキア）を講師に迎え、5月29日より6月4日まで、国立オリンピック記念少年センターとJUKI体育館において開催されましたので報告致します。

期間中、ずいぶんハードスケジュールではありましたが、講師、参加者の熱意により多大な成果が得られました。また、ムラッツ氏を囲んでの懇親会も催され、講師や参加者同士との交流も深められ、意義ある講習会となりました。

今回は全体的な報告を行ない、講習の内容については次回から報告する予定です。

1．オリンピックソリダリティについて

オリンピックソリダリティとは国際オリンピック委員会（IOC）がスポーツ振興のために財政援助を行なうもので、IOCの専門委員会の一つであるソリダリティ委員会のもとに国際競技連盟（IF）、各国オリンピック委員会（NOC）、各国競技連盟（NF）が連携して開催して開催される事業です。今回は、IHF、JOC、日本ハンドボール協会が連携して行ないました。荒川清美日本ハンドボール協会副会長は、開催に先立ちJOC委員として挨拶に立たれました。また、オリンピックソリダリティには、リジョナルコース（地域コース）、ナショナルコース（国内コース）、テクニカルコース（技術参加コース）の3タイプがあり、今回行なわれたのはナショナルコースです。

2．講師、通訳

○ヤロスコフ・ムラッツ

IHF派遣講師として今回の講習会のために来日。

ムラッツ氏は、現在IHF・CCMメンバーの6人のうちの一人で、他のメンバーには委員長のイオン・クンスト氏（ルーマニア、1985年来日、公認コース研修会講師）、イバン・スノイ氏（ユーゴスラビア、数度来日、一日講習会講師）などがいます。

ムラッツ氏は1930年生れで今年59歳。1961年にチェコナショナル男子チームの監督に31歳（当時最年少）で就任し、1964年には世界選手権で3位に入賞している。人後、オランダナショナルチーム、西ドイツクラブチーム、イタリアクラブチームの監督

を歴任。1966年よりIHF委員として活動し、1976年よりIHF・CCMメンバーとして活躍されている。

チェコにおいては、1972年にスポーツ省に入り、1986年よりスポーツ省強化担当責任者として現在に至っている。また、1990年には、次回世界選手権がチェコで開催されるが、この大会の実行委員としても名前を連ね、多忙中の来日であった。

○水上 一

今回の講習会のアシスタント講師。現在、女子ナショナルチームのコーチであり、井、樫塚、緒方監督と3代の監督にまたがるコーチとしてその力量を発揮してきた。筑波大学の体育専門学群の教官で筑波大学女子チームの監督でもある。1986年にIHFの公認講師の資格を得ている。

○通訳・榎本良三

専門はサッカーであるが、ケルン体育大学への10年近くに及ぶ留学経験と氏の熱心さでハンドボールの専門用語にも精通しており、十分成果があげられました。

3. 参加者

参加者は、指名受講者としてナショナル強化担当者、日本リーグ監督、一般受講者として各連盟等から推薦を受けた方から募集を行ない、以下の方々が参加された。

市原則之、野田清、井薫、大西武三、本田娟一、津川昭、喜井美雄、蒲生晴明、緒方嗣雄、梶岡俊介、早川清孝、東根明人、細木建夫、田中守、藤原侑、宍倉保雄、斉藤幸司、服部秀人、脇若正二、李相玉、加古雅彦、松本勇、樫塚正一、松喜美夫、佐藤靖、藤村孝司、吉田久士、宇栄原幸政、福井孝明、池田修、大塚秀幸、浅野幹也、村松誠、平岡秀雄、笹倉清則、江成元仲、清水宣雄、永松義浩、花畑平男。

4. 参加者感想文

参加者から寄せられた感想文の中から意見をまとめてあげておきます。

○指導について

・練習形態に工夫がみられ、今後の日本にも参考になった。

・試合の場面で生起しやすい状況が練習形態の中で設定されていた。

・技術が自然に体得されるように工夫されている。

○ゲーム分析について

・チェコやヨーロッパにおいては、ソウル大会における技術・戦術に関しての分析がVTRの編集も含めて完了しているのに、日本国内においては公式には十分なされておらず日本の遅れを感じる。

○今後の講習会の課題について

・講習会の定期的開催を希望する。

・指導者だけでなく、審判、協会関係者も参加する講習会を開催して欲しい。

全国小学生ハンドボール大会のシンボルマーク募集要項

京都府田辺町で開催されました、全国小学生ハンドボール大会が第３回を期して、ますます発展することを願い、この大会が広く全国の小学生に親しまれるよう、大会のシンボルマークを募集します。

1．シンボルマークは……

ハンドボールのスポーツを単的に図案化したもの。

2．応募資格

全国の小学生男女児童

3．応募の注意

(1)　ハガキまたは封書。一人何点でもよい。）学校で同形状の用紙を使用し、まとめて応募することも可）

(2)　作品には、住所、氏名、年令、性別、学校学年名を記入のこと。

4．募集期間

平成元年９月１日から平成２年３月31日まで

5．作品の送り先

〒610-03　京都府綴喜郡田辺町大字田辺小字田辺80番地

田辺町教育委員会社会教育課

TEL　07746-2-9550（代）

6．発表など

選考は、日本ハンドボール協会、京都府ハンドボール協会、田辺町、田辺教育委員会、田辺社会体育協会により、シンボルマーク審査委員会において行なう。

発表は、審査結果は、事前に受賞者に直接通知するほか、日刊新聞などに発表します。

7．賞

優秀作品には、賞状、副賞を贈ります。

---

asics® TIGER®

●商品についてのお問い合わせは株式会社アシックス消費者相談室までどうぞ

〒650 神戸市中央区港島中町7丁目1番1 TEL (078) 303-2233（専用）・(078) 303-3333（大代表）

〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 TEL (03) 624-1814（専用）・(03) 624-2221（大代表）

■ Rは㈱アシックスの登録商標です

株式会社アシックス